

①

河川名

中島川

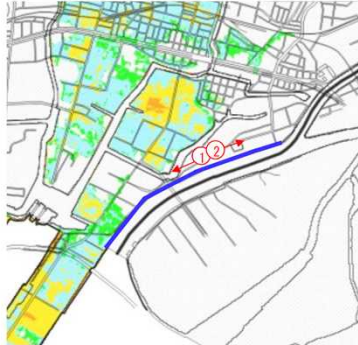
地区名

尼崎市

構造形式

コンクリート擁壁
+ 鋼管基礎杭

◆位置図



写真①

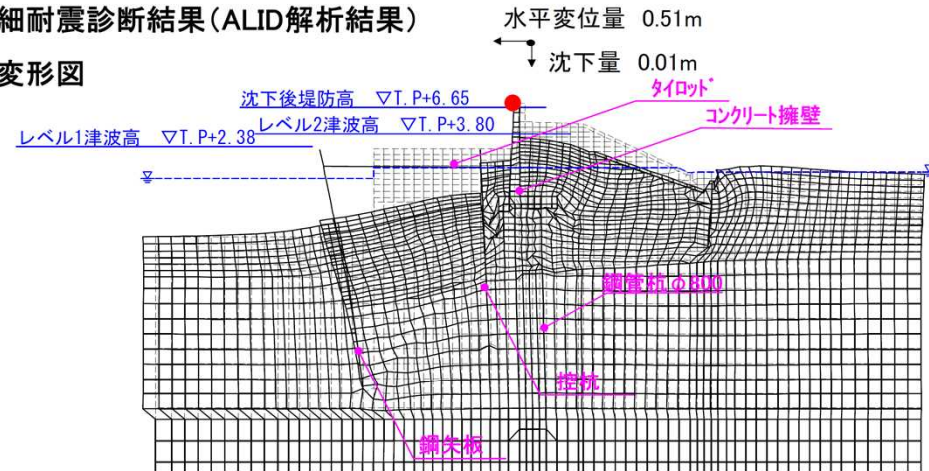


写真②

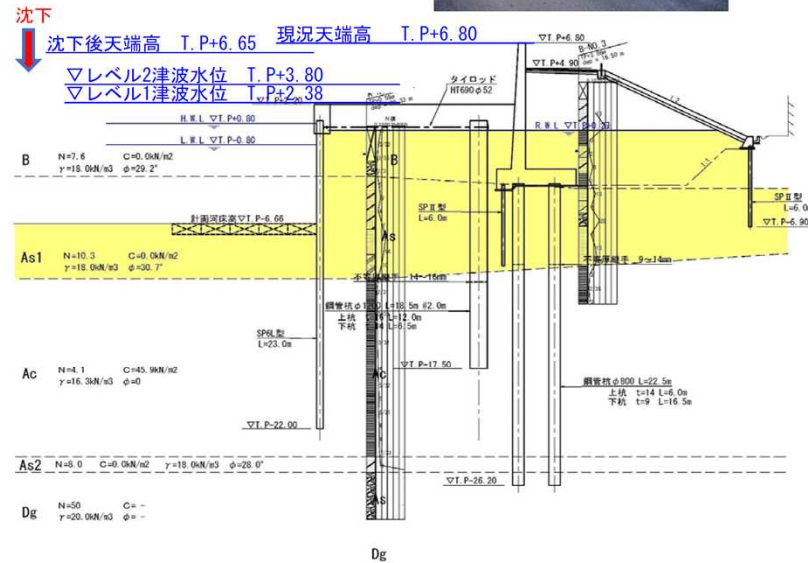


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

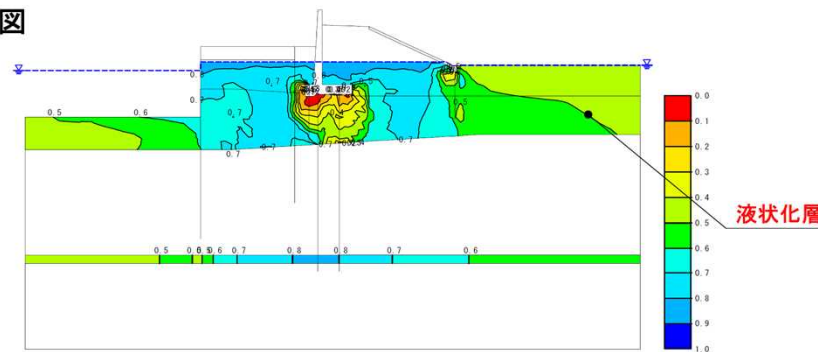
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.38	3.80	6.65	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

②

河川名

左門殿川

地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.94m
 ↓
 沈下量 0.91m

◆位置図



写真①

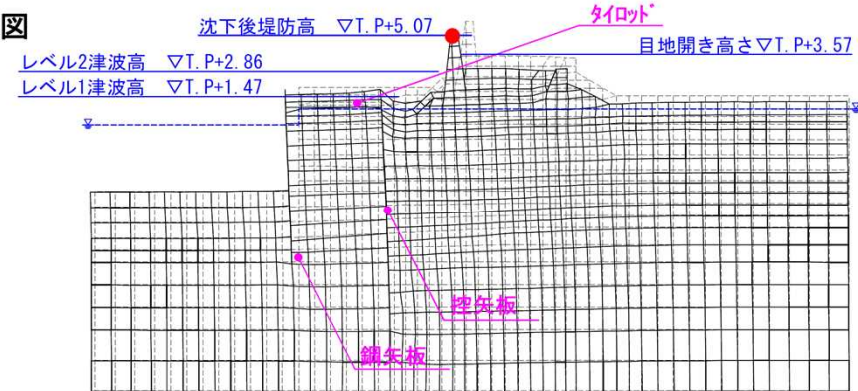


写真②

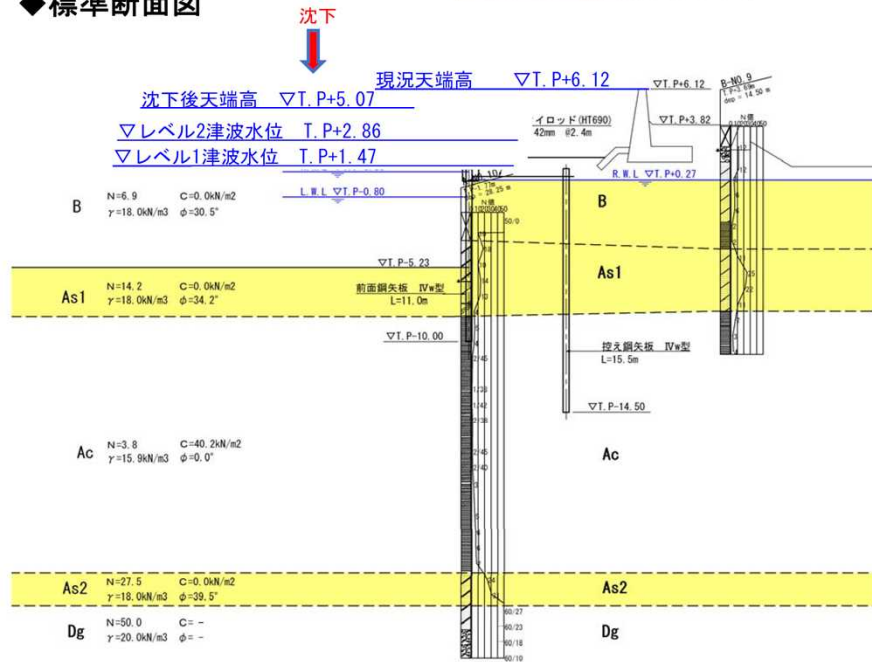


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

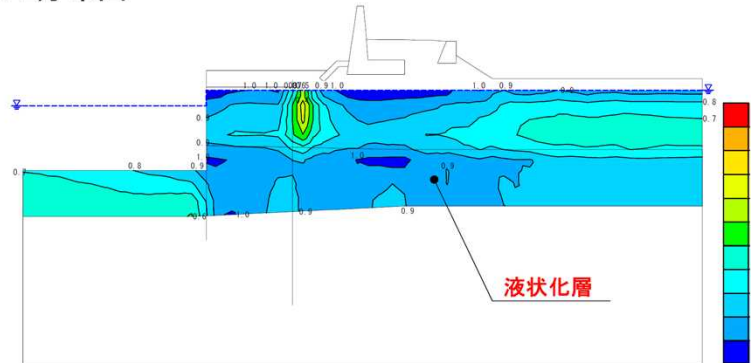
変形図



◆標準断面図



FL分布図

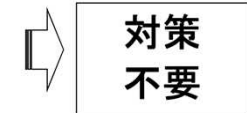


◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.47	2.86	5.07	3.57	越流なし

◆対策要否



沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液化化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

③

河川名

神崎川

地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.02m

↓ 沈下量 0.27m

◆位置図



写真①

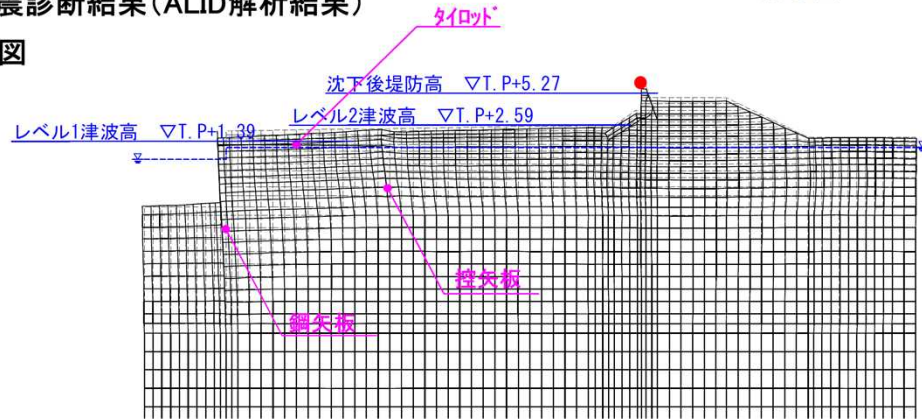


写真②

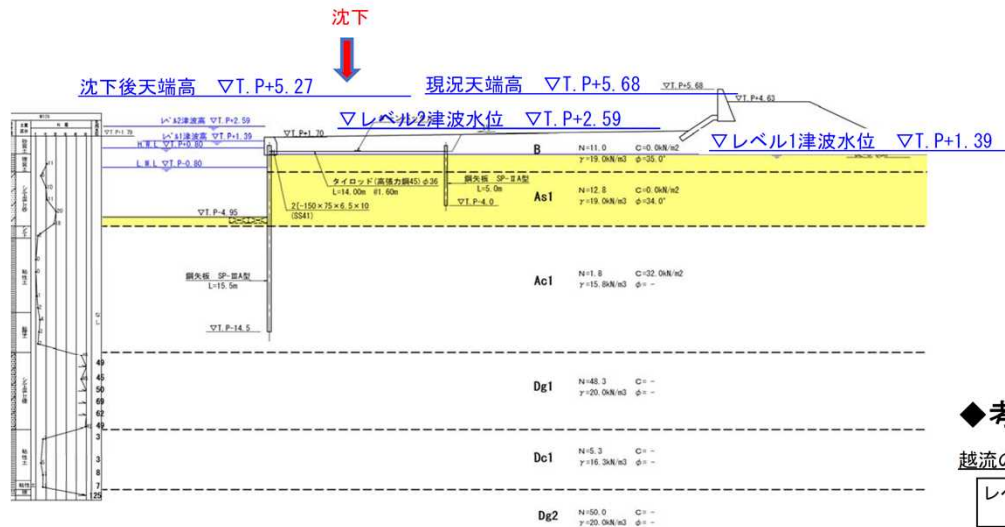


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

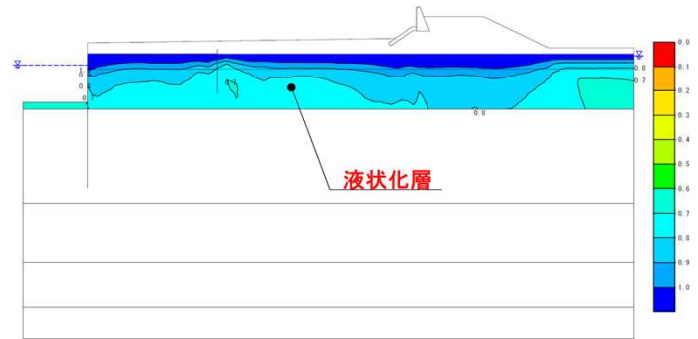
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.39	2.59	5.27	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

④

河川名

庄下川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

◆位置図



写真①

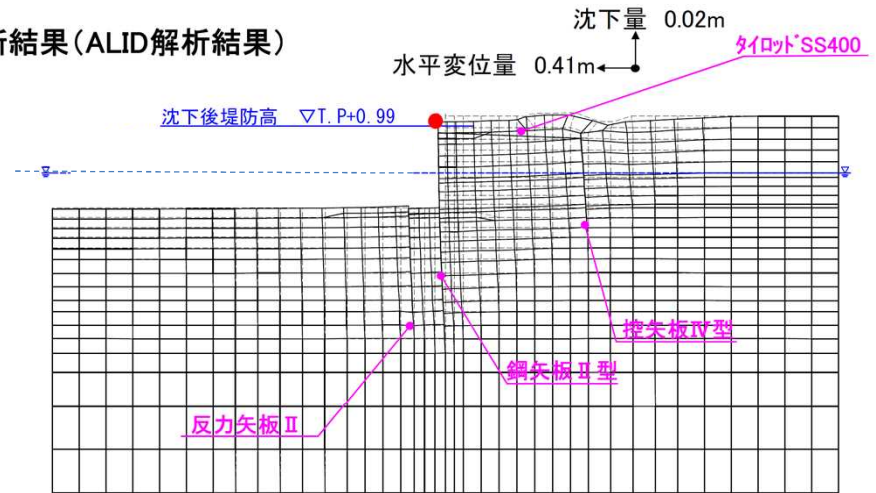


写真②

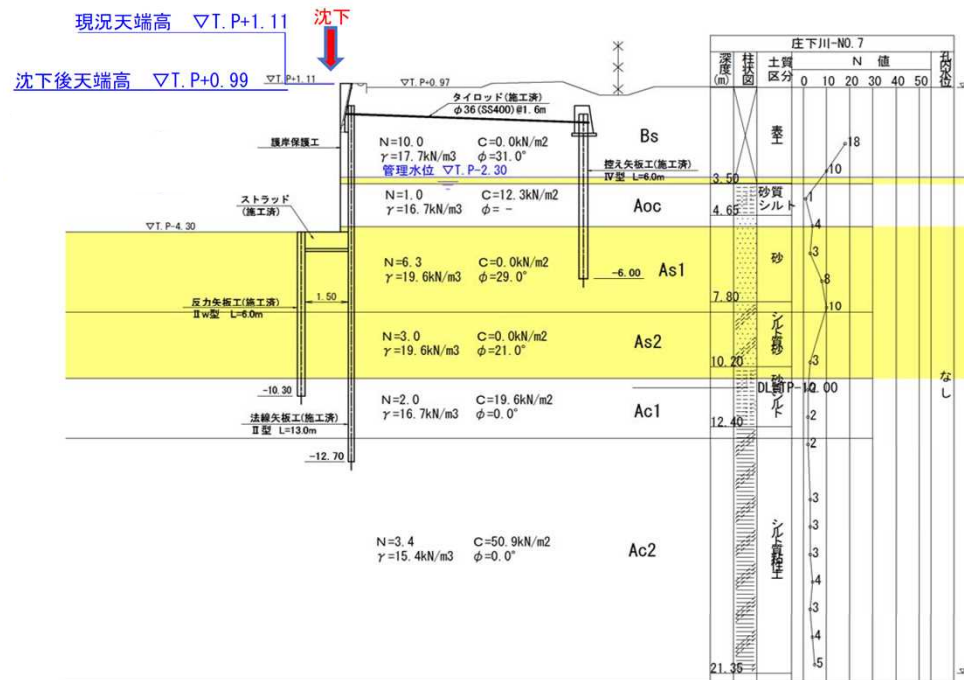


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

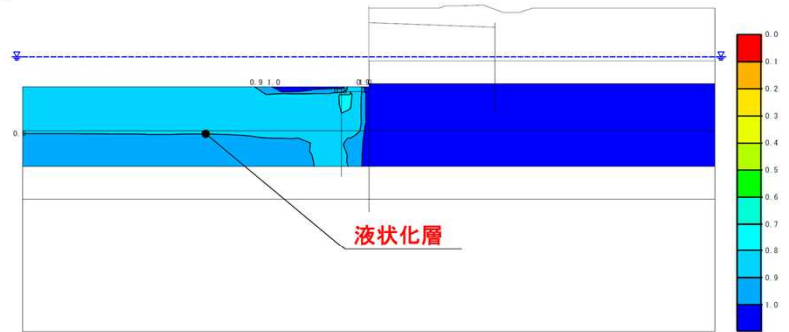
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	越流判定
-	-	0.99	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※ 沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

⑤

河川名

旧左門殿川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

水平変位量 1.26m

沈下量 0.66m

◆位置図



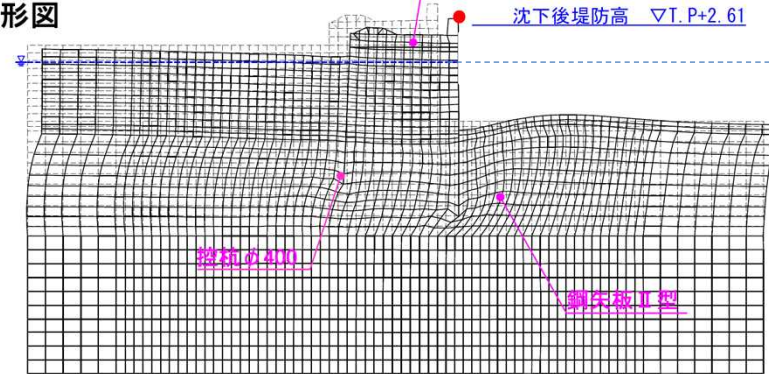
写真①



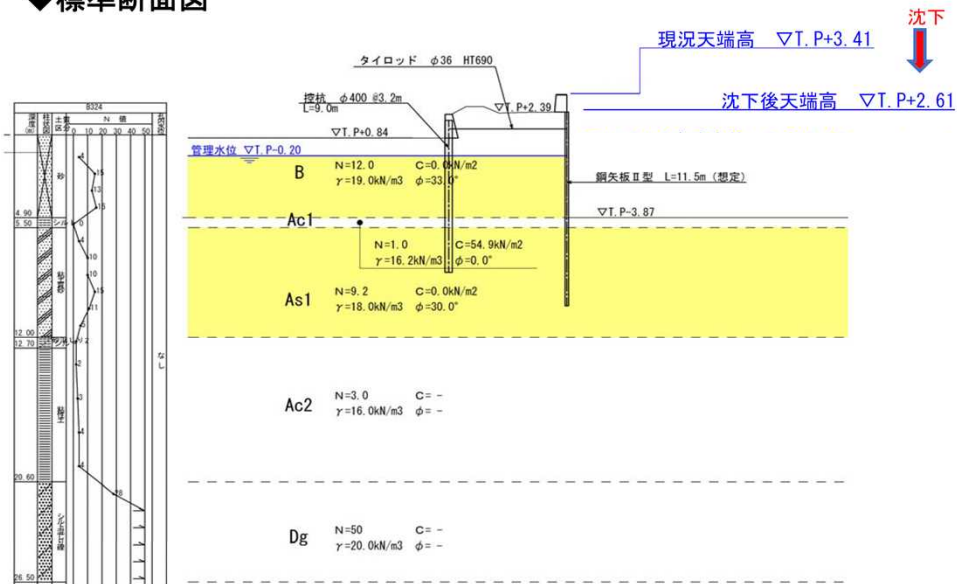
◆詳細耐震診断結果 (ALID解析結果)

タイロッドHT690

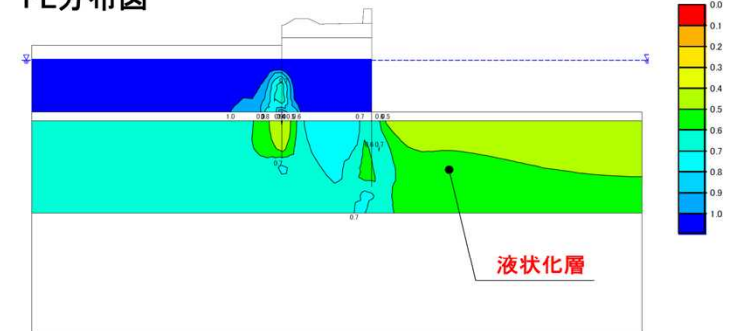
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	越流判定
-	-	2.61	越流なし

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

⑥

河川名

蓬川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

水平変位量 0.92m

沈下量 0.06m

◆位置図



写真①

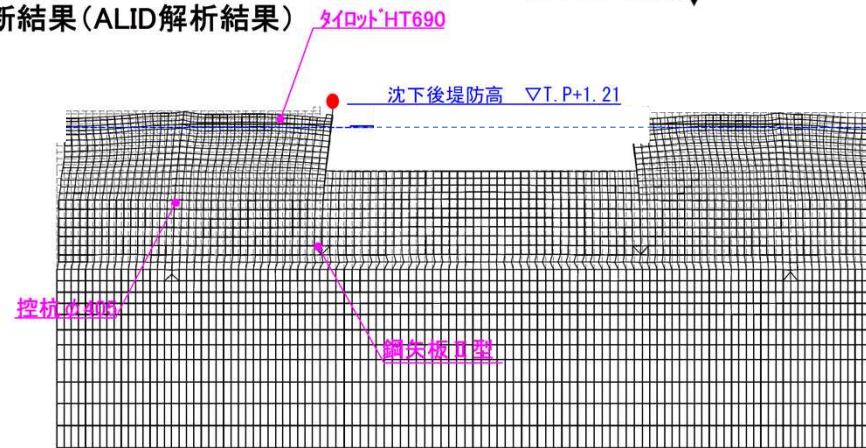


写真②

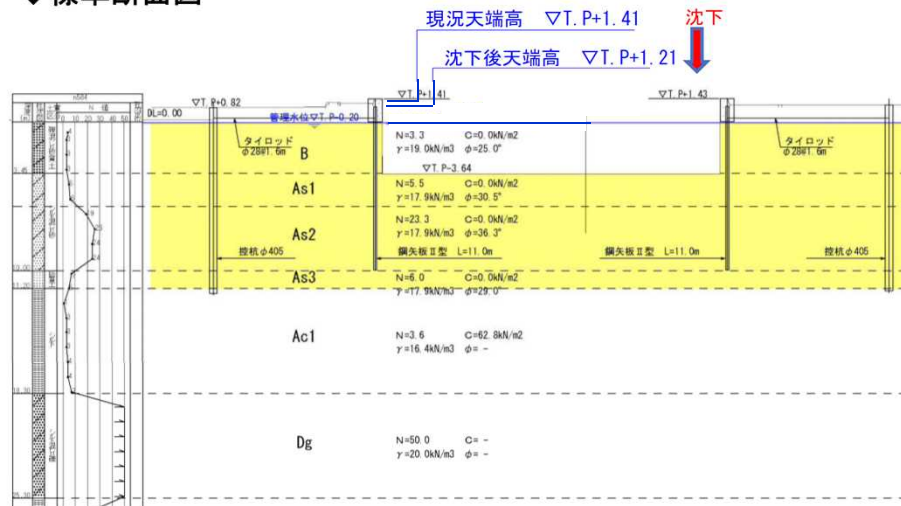


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

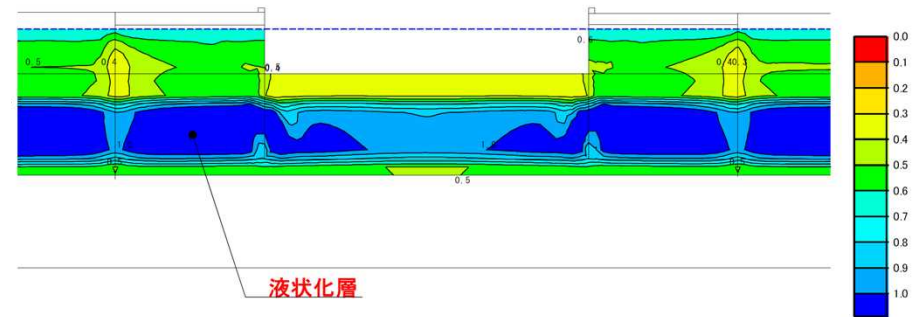
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	越流判定
-	-	1.21	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑦

河川名

武庫川

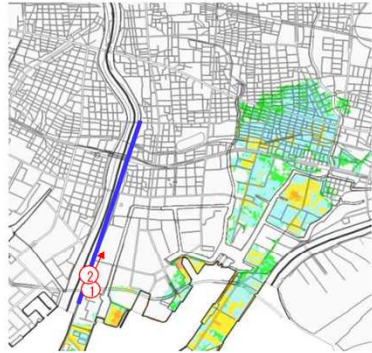
地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

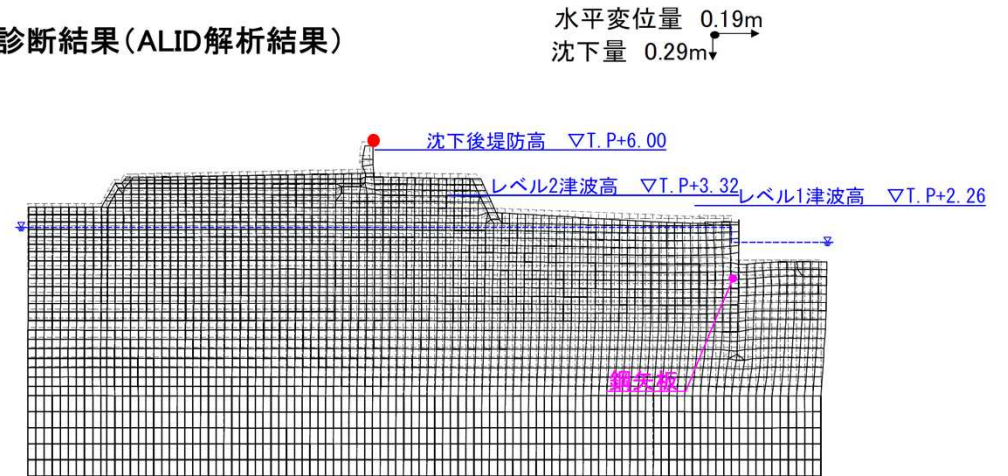


写真②

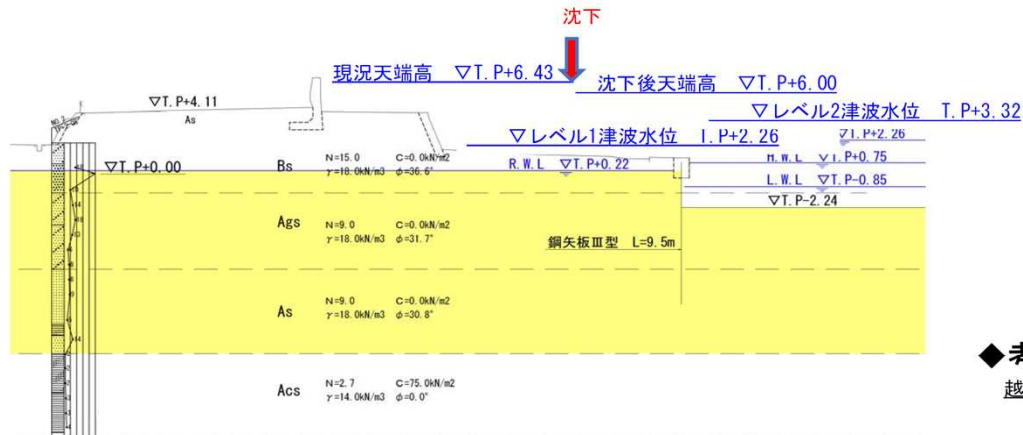


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

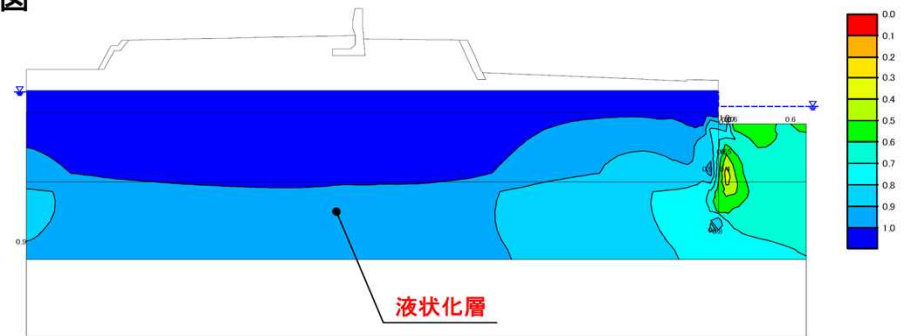
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.26	3.32	6.00	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

⑧

河川名

宮川

地区名

芦屋市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.01m
沈下量 0.11m

◆位置図



写真①

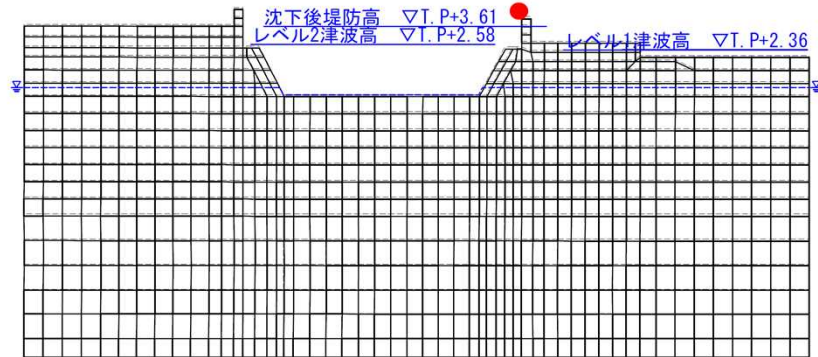


写真②

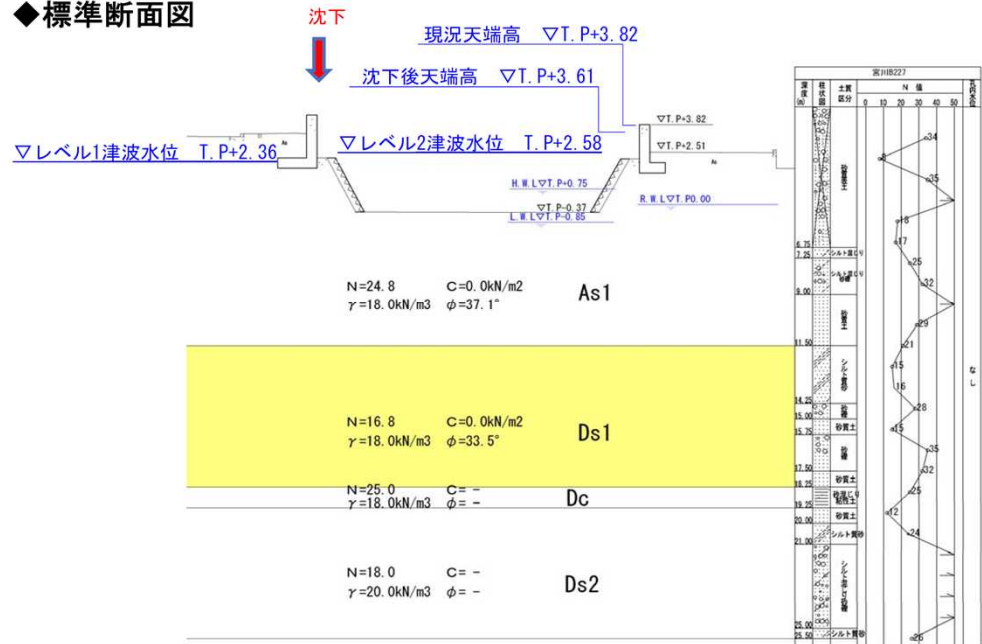


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

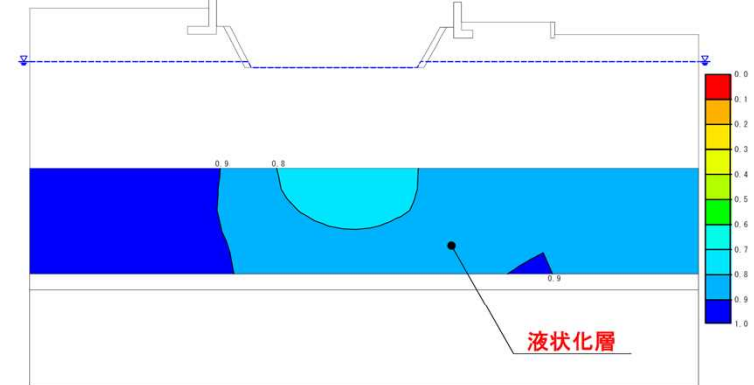
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.36	2.58	3.61	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑨

河川名

高橋川

地区名

神戸市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.00m
沈下量 0.08m ↓

◆位置図



写真①

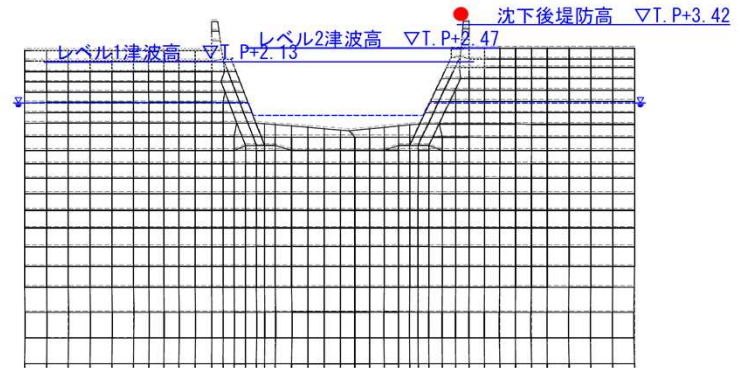


写真②

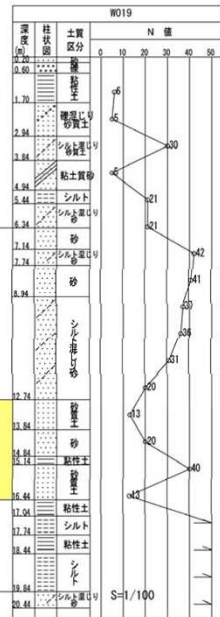
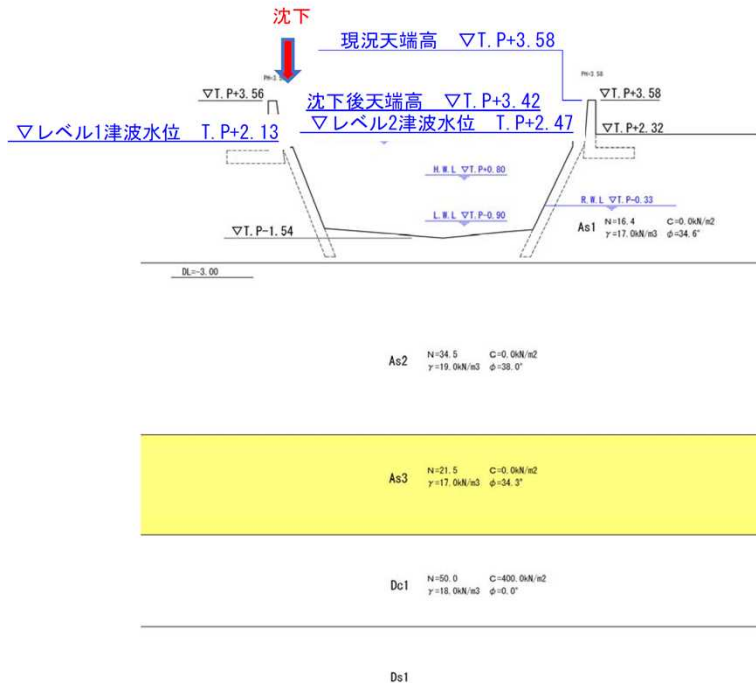


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

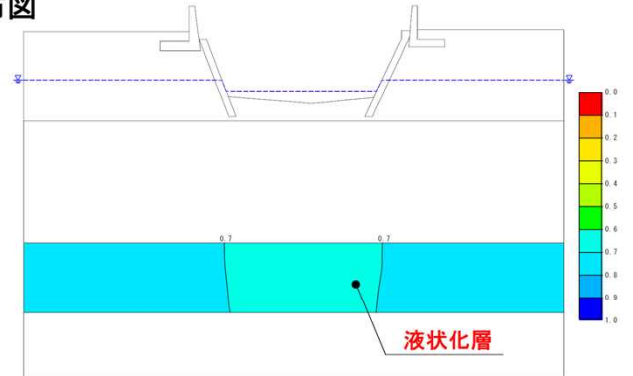
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.13	2.47	3.42	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

➡ 対策不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑩

河川名

天上川

地区名

神戸市

構造形式

自立式矢板
+パラペット

水平変位量 0.02m
沈下量 0.31m

◆位置図



写真①

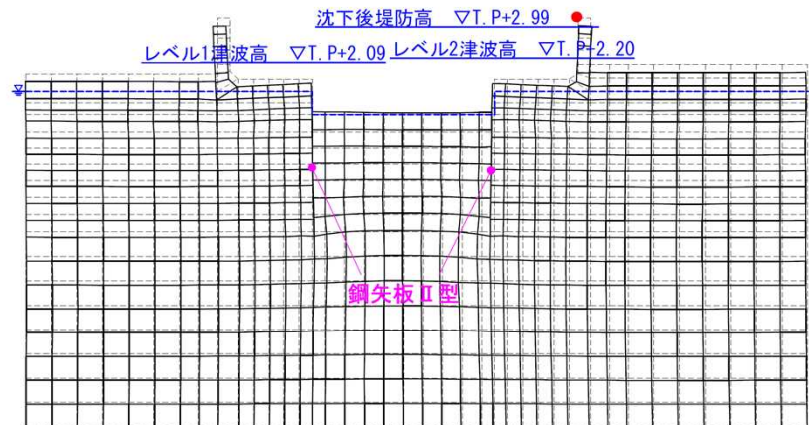


写真②



◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

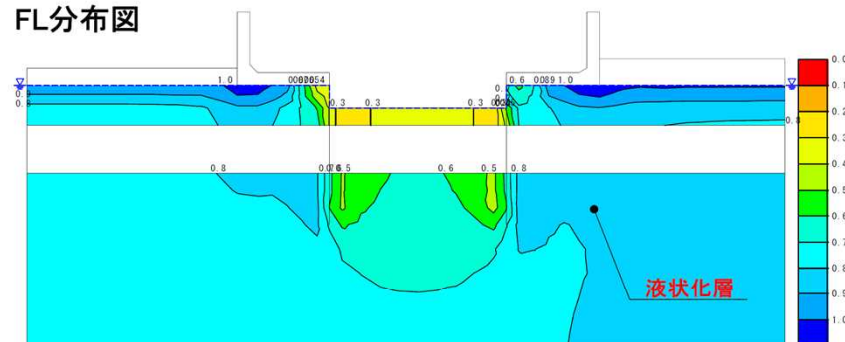
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.09	2.20	2.99	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑪

河川名

別府川

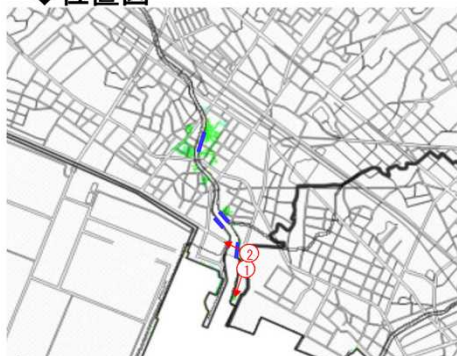
地区名

加古川市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

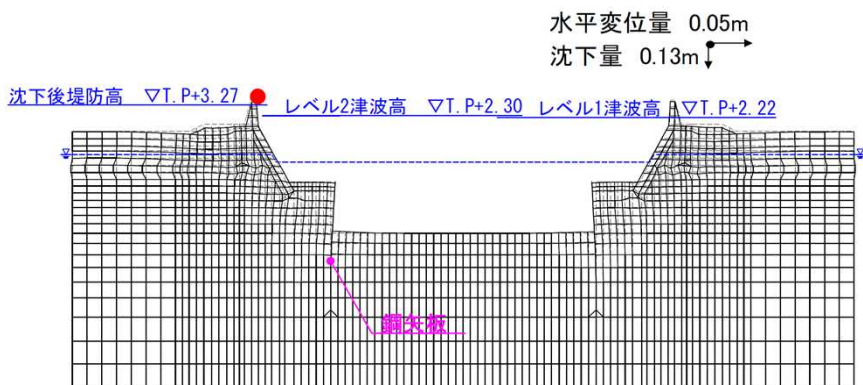


写真②

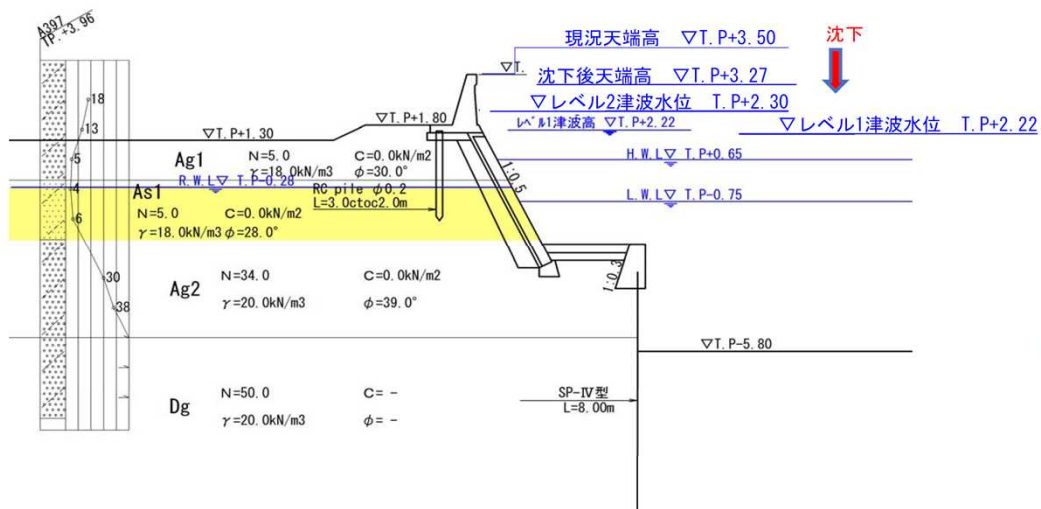


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

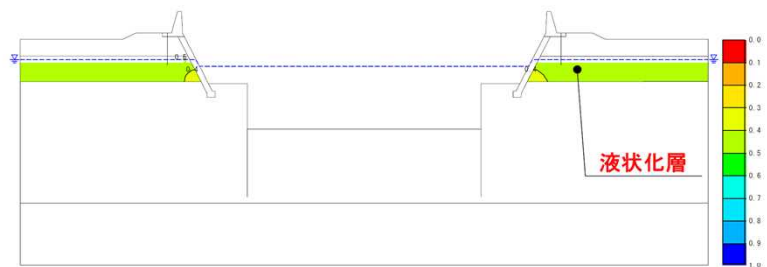
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.22	2.30	3.27	目地開きなし	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑫

河川名

船場川

地区名

姫路市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

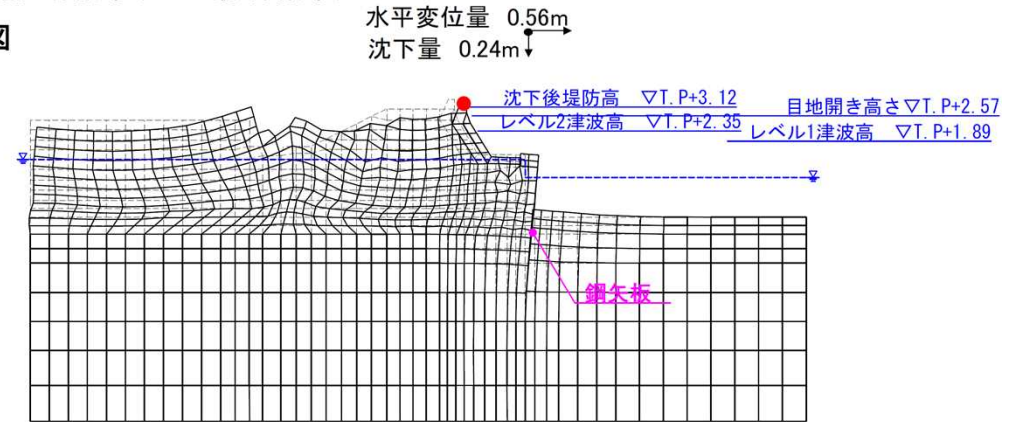


写真②

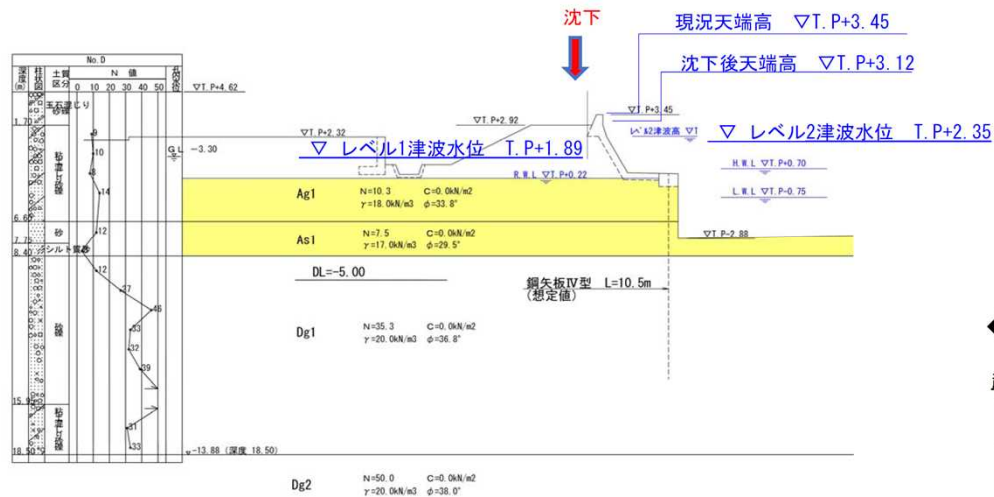


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

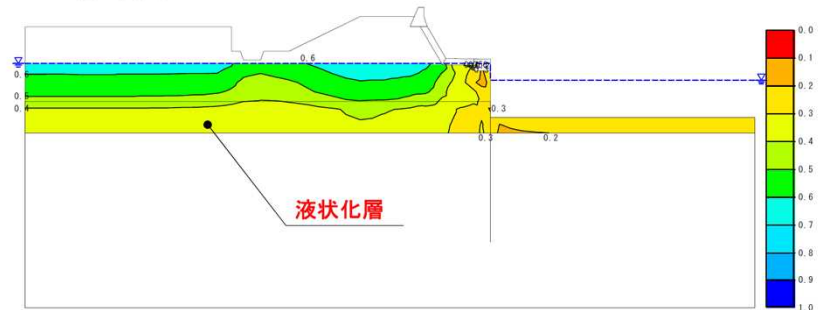
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.89	2.35	3.12	2.57	越流なし

◆対策要否

⇒ 対策不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑬

河川名

夢前川

地区名

姫路市

構造形式

土堤

◆位置図



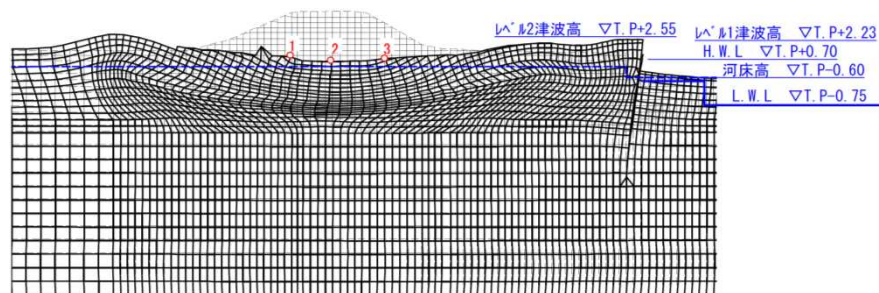
写真①



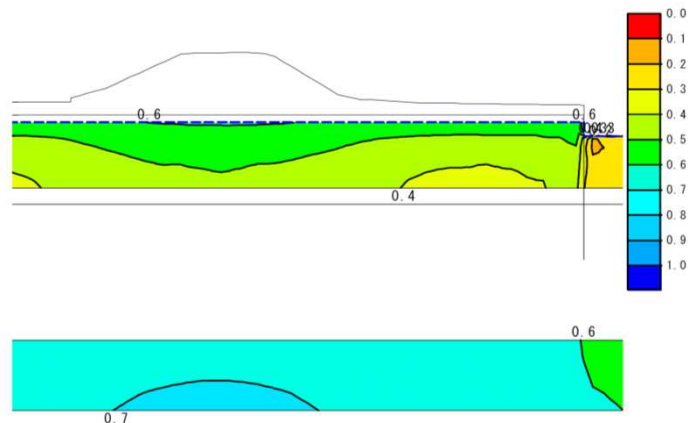
◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

変形図

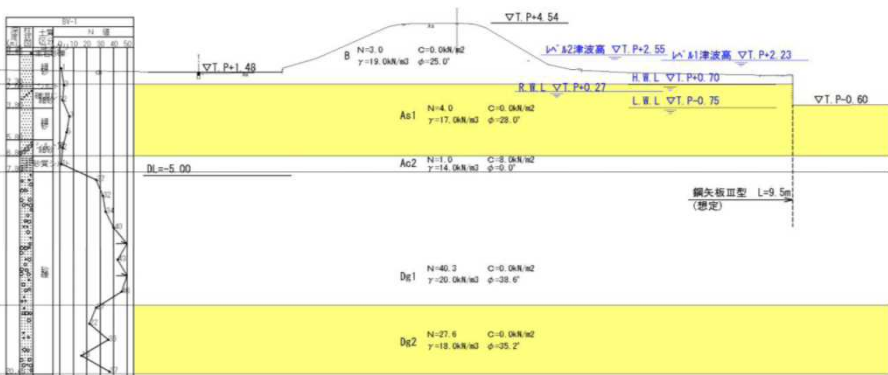
沈下量 3.48m (①、②、③の平均)



FL分布図



◆標準断面図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.23	2.55	0.97	-	越流あり

◆対策要否



対策必要

沈下対策の判定

堤防をレベル1津波、レベル2津波が越流し、背後地が低く浸水する可能性があるため、沈下対策を行う必要がある。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑭

河川名

水尾川

地区名

姫路市

構造形式

土堤

◆位置図



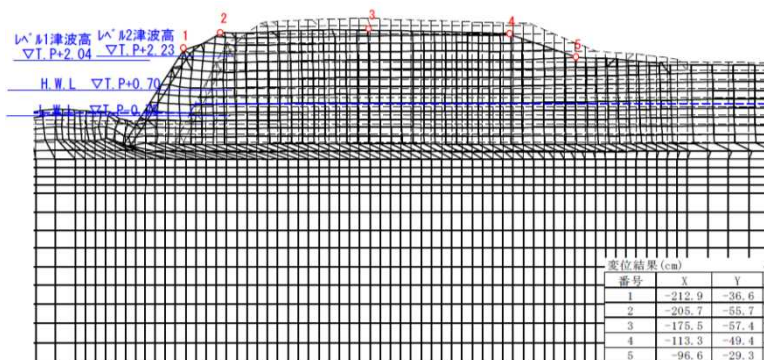
写真①



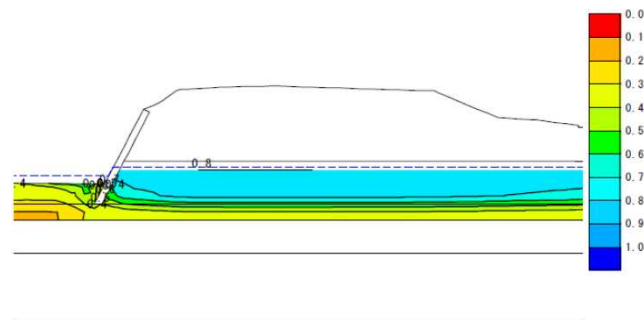
◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

↓ 沈下量 0.54m (②、③、④の平均)

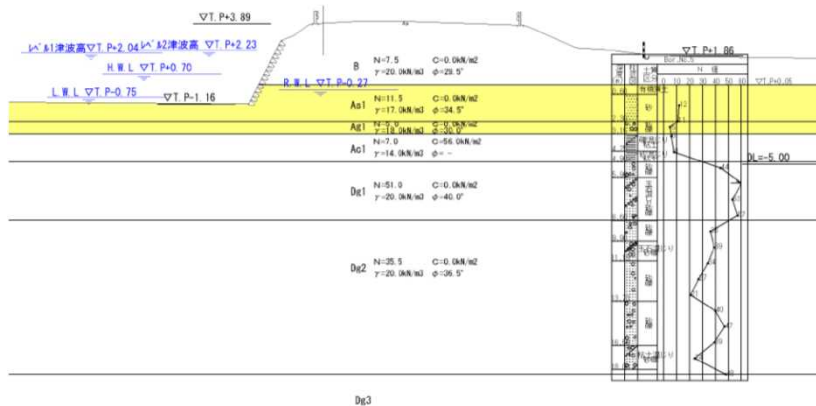
変形図



FL分布図



◆標準断面図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.04	2.23	3.27	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑮

河川名

汐入川

地区名

姫路市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①



写真②

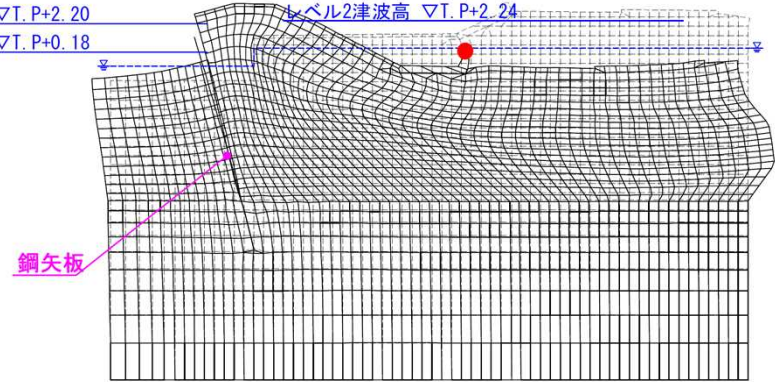


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

変形図

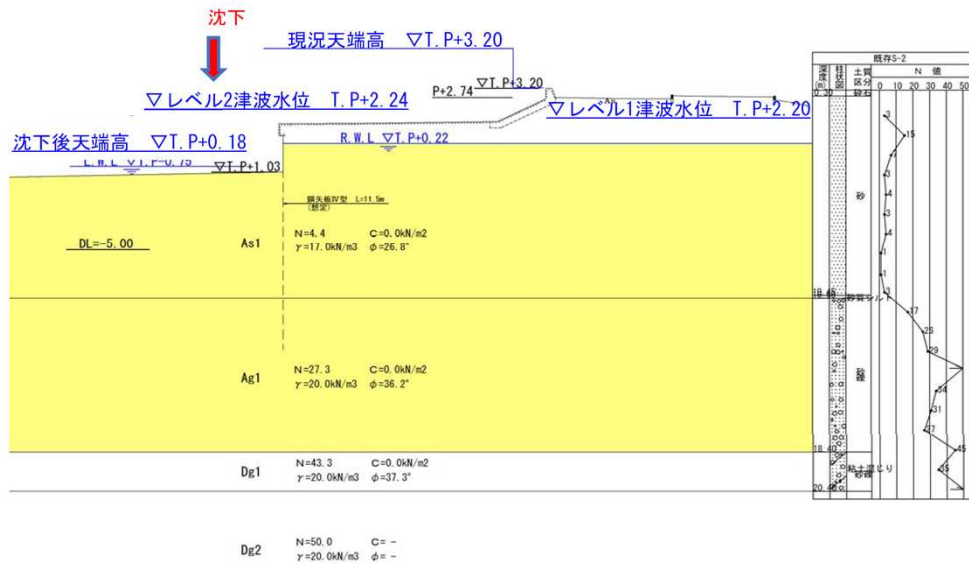
レベル1津波高 ∇ T.P.+2.20
沈下後堤防高 ∇ T.P.+0.18

レベル2津波高 ∇ T.P.+2.24

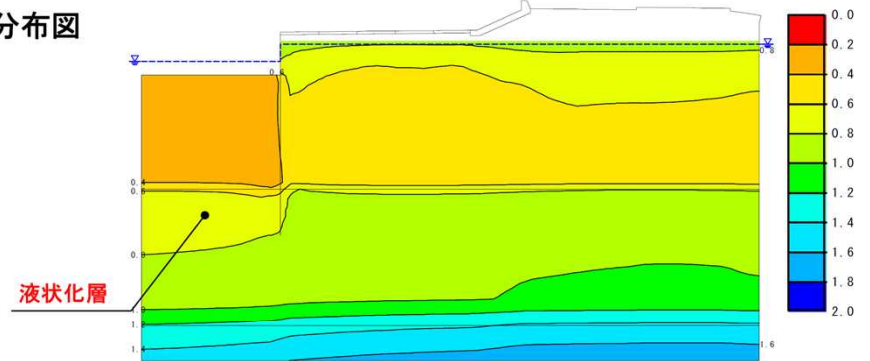


水平変位量 1.98m
沈下量 2.93m

◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.20	2.24	0.18	目地開きなし	越流あり

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

堤防をレベル1津波、レベル2津波が越流し、(レベル1津波越流深2.02m、レベル2津波越流深2.06m)、背後地が低く、浸水する可能性があるため、沈下対策を行う必要がある。

※FLIP解析では、沈下後堤防高がT.P.+2.96mとなり、レベル1津波が越流しないため、沈下対策は実施しない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑩

河川名

大津茂川

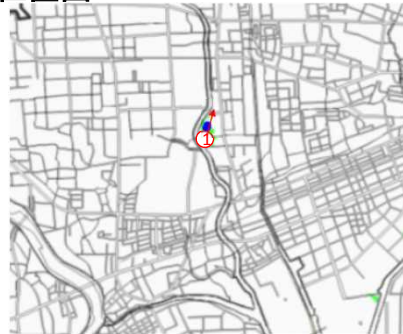
地区名

姫路市

構造形式

土堤

◆位置図



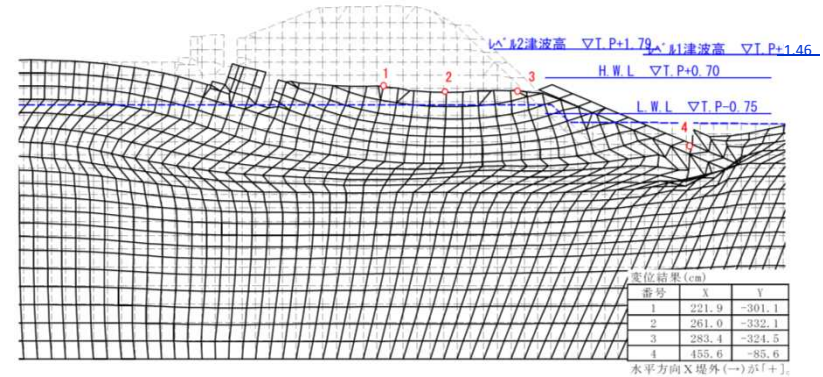
写真①



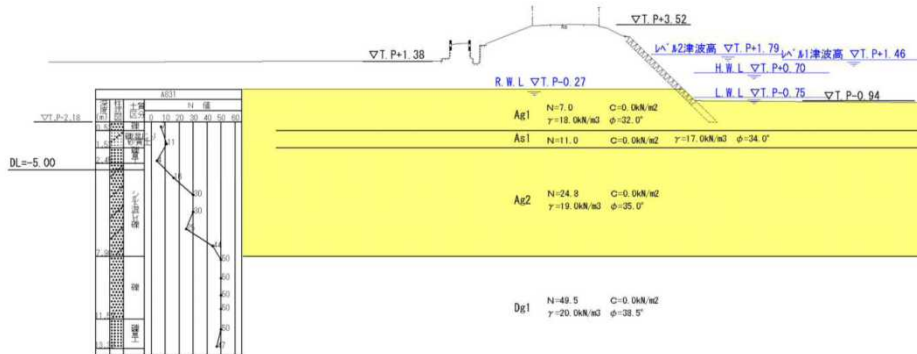
◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

変形図

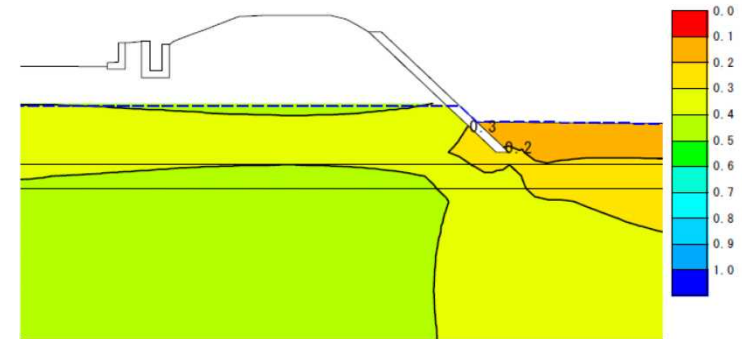
↓ 沈下量 3.19m (①、②、③の平均)



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.46	1.79	0.24	-	越流あり

◆対策要否

⇒ 対策不要

沈下対策の判定

津波が越流するが、浸水シミュレーションにおいて人家への浸水が無く、影響が小さいため、対策は実施しない

※ 沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑰

河川名

市川

地区名

姫路市

構造形式

土堤

◆位置図



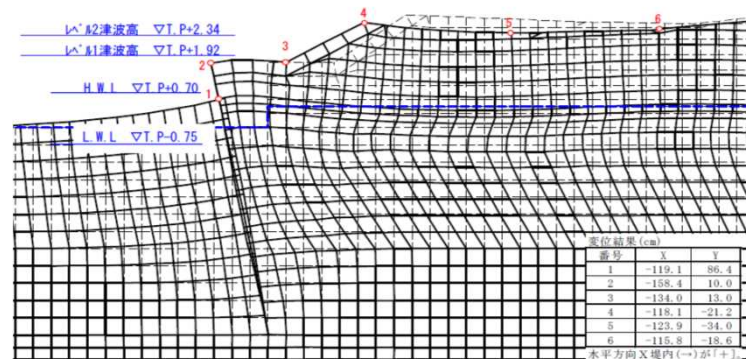
写真①



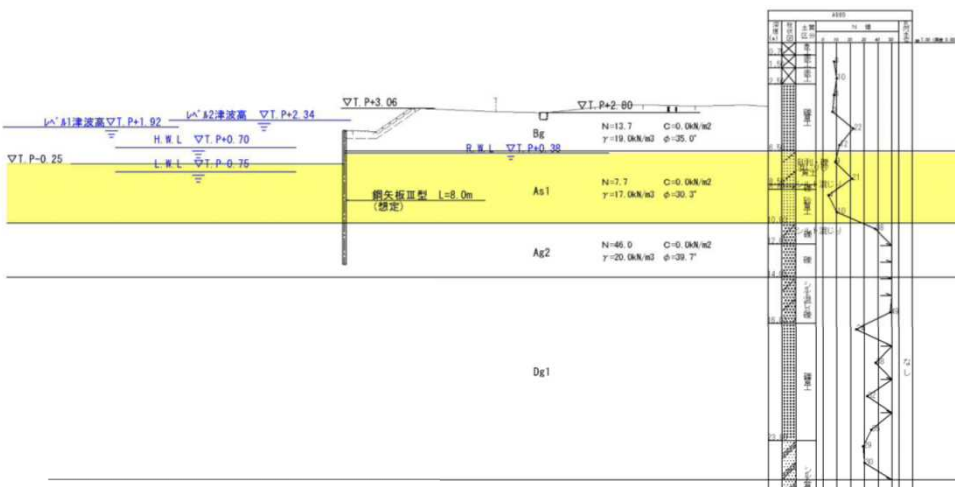
◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

↓沈下量 0.25m (④、⑤、⑥の平均)

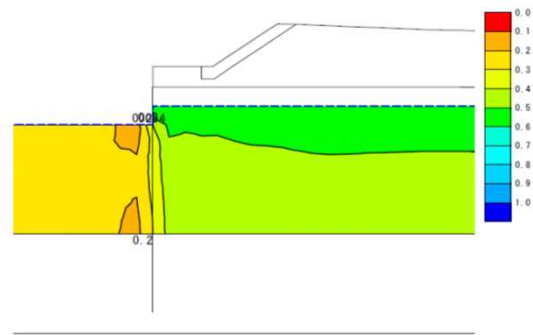
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.92	2.34	2.72	-	越流なし

◆対策要否



対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑱

河川名

大津川(下流)

地区名

赤穂市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①



写真②

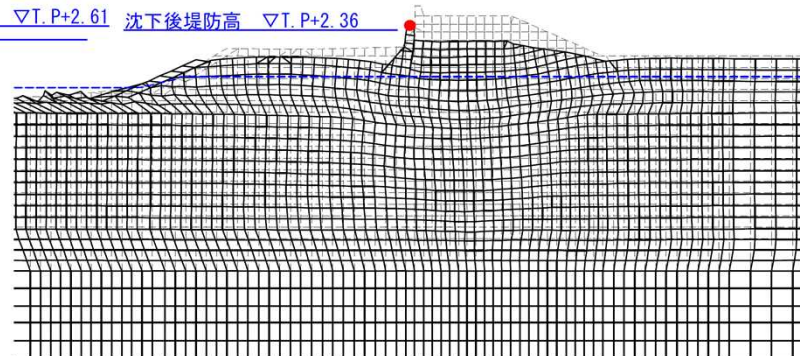


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

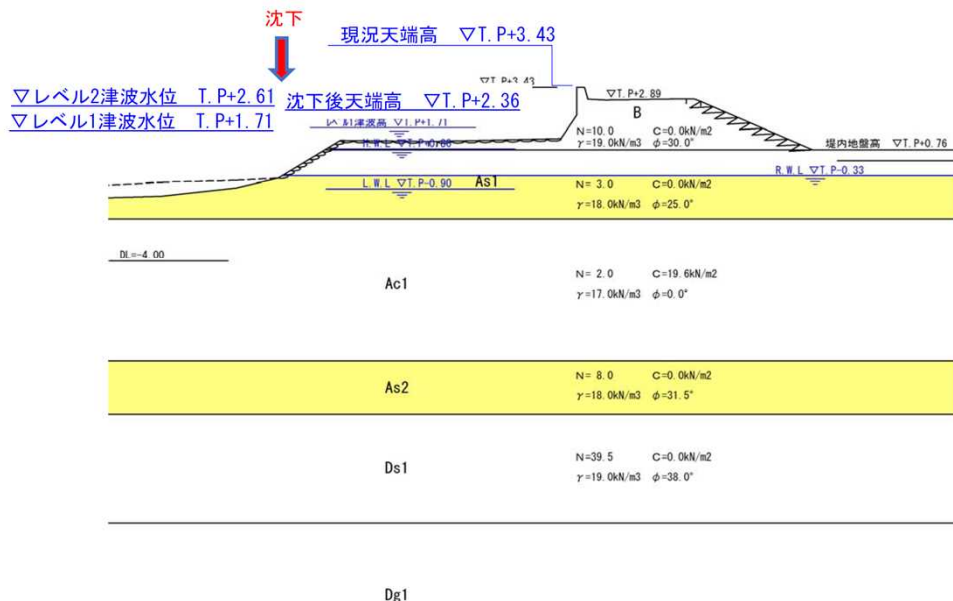
変形図

レベル2津波高 $\nabla T.P.+2.61$ 沈下後堤防高 $\nabla T.P.+2.36$
レベル1津波高 $\nabla T.P.+1.71$

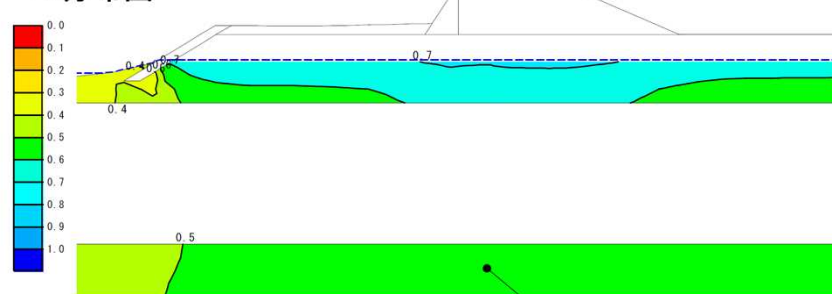
水平変位量 0.38m
沈下量 0.99m



◆標準断面図



FL分布図



液状化層

◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.71	2.61	2.36	目地開きなし	越流あり

◆対策要否

対策不要

沈下対策の判定

堤防をレベル2津波が越流するが(越流深0.25m)、現況堤防はブロックで被覆されており、沈下後の相対変位量も小さいことから、対策を行う必要はない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑱

河川名

洲本川

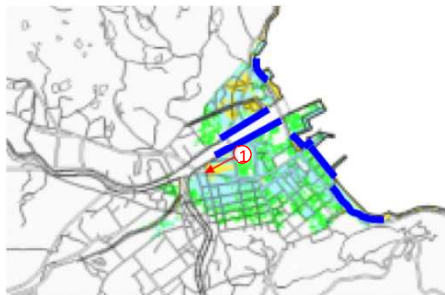
地区名

洲本市

構造形式

土堤

◆位置図

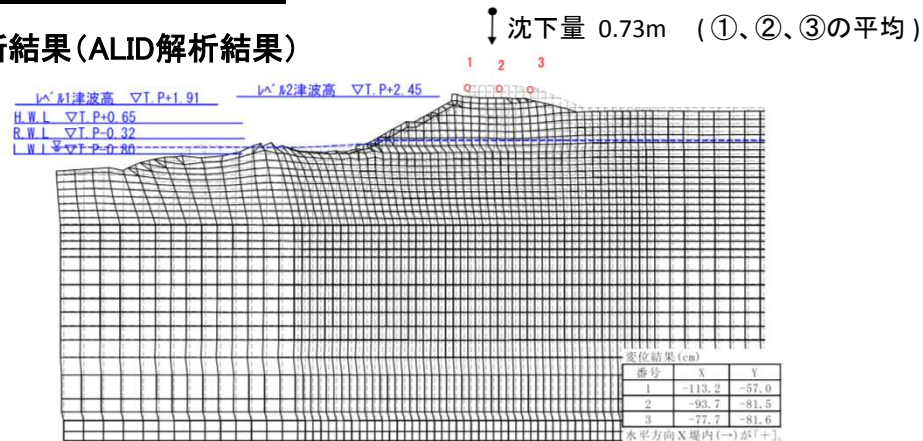


写真①

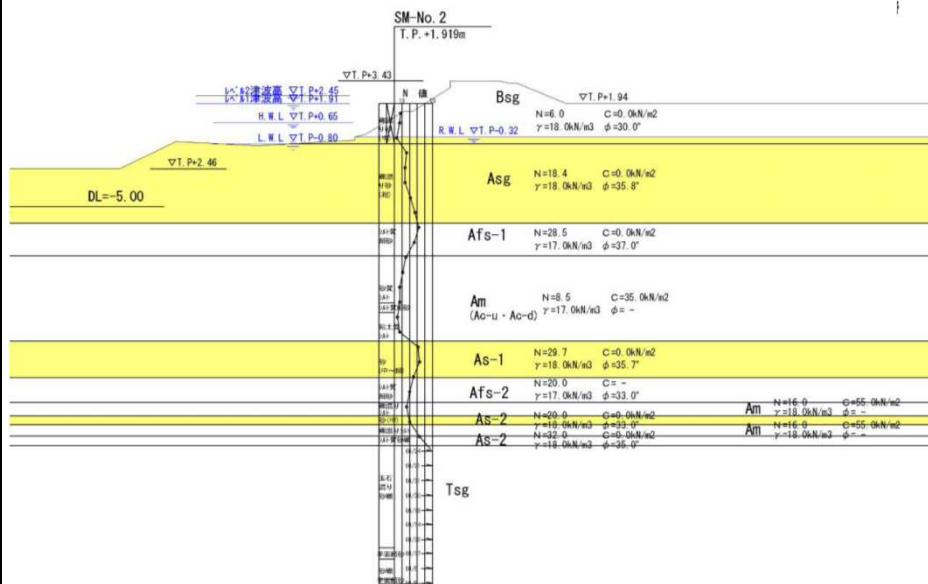


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

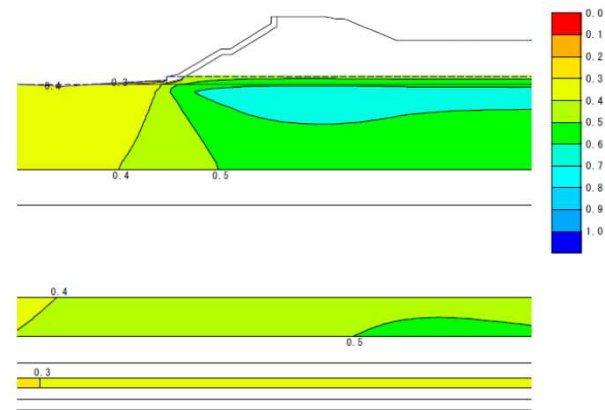
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.91	2.45	2.39	-	越流あり

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

津波が越流するが、浸水シミュレーションにおいて人家への浸水が無く、影響が小さいため、対策は実施しない

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑳

河川名

三原川

地区名

南あわじ市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



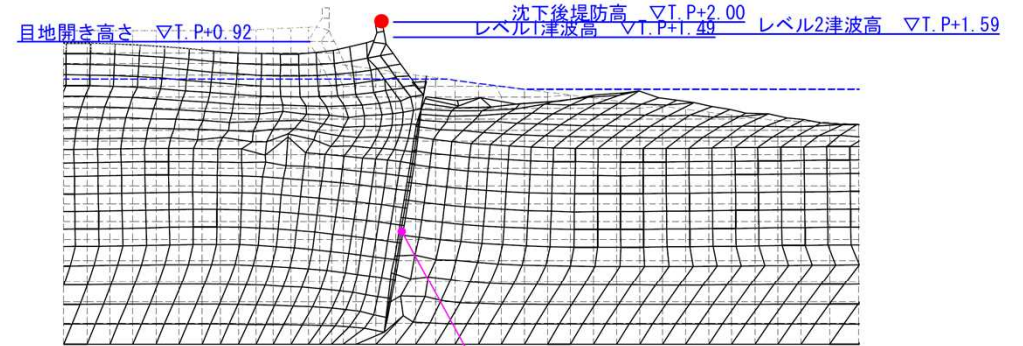
写真①



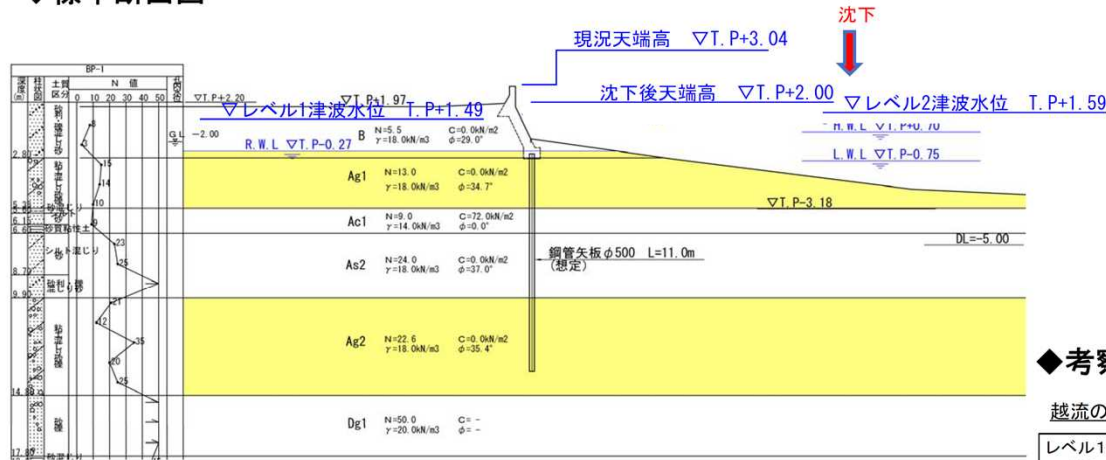
◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

水平変位量 2.30m
沈下量 0.62m

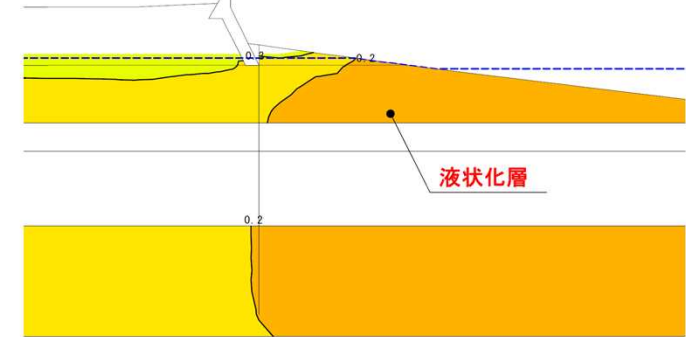
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.49	1.59	2.00	0.92	越流あり

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

目地開きにより津波が越流するが、背後地盤が高く、浸水が広がらないため、対策を行う必要はない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

②

河川名

倭文川

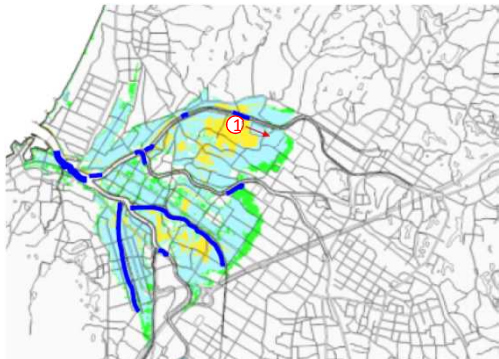
地区名

南あわじ市

構造形式

土堤

◆位置図

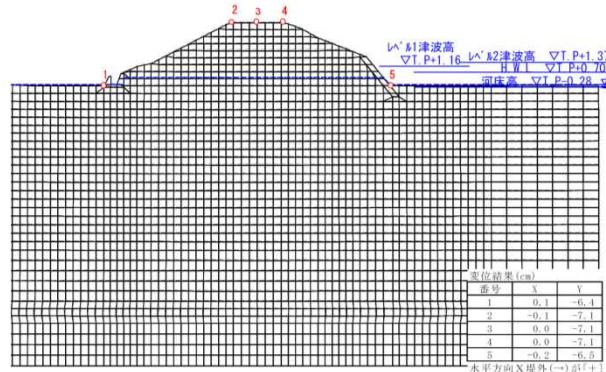


写真①

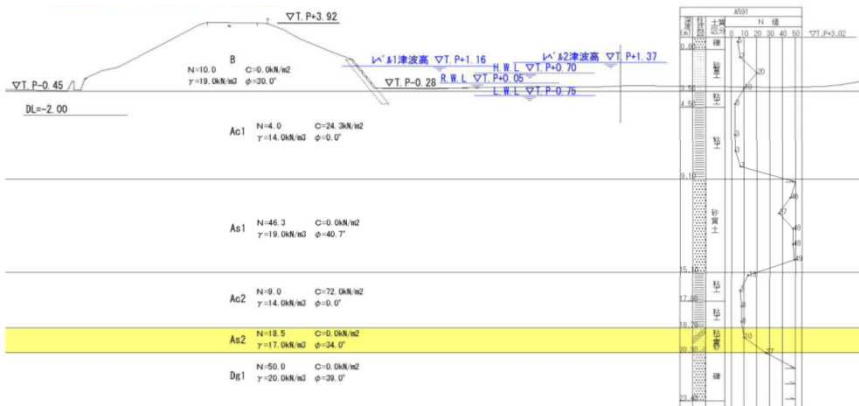


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果) ↓ 沈下量 0.07m (②、③、④の平均)

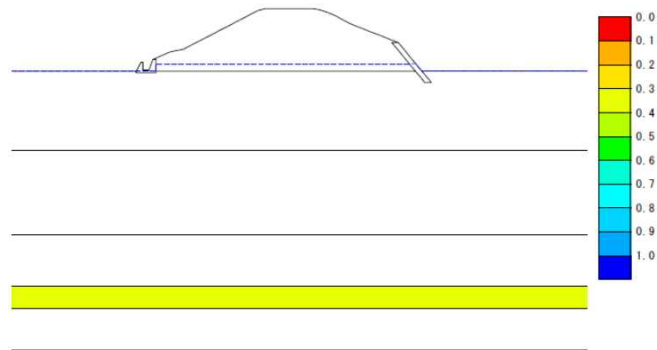
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.16	1.37	3.43	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

②

河川名

大日川

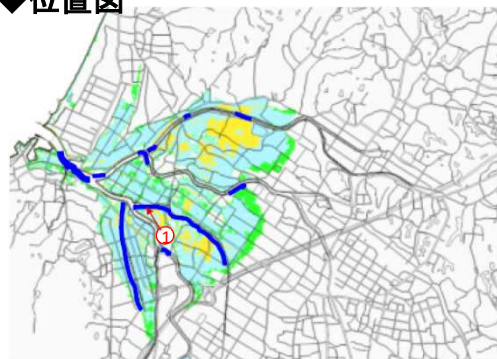
地区名

南あわじ市

構造形式

土堤

◆位置図

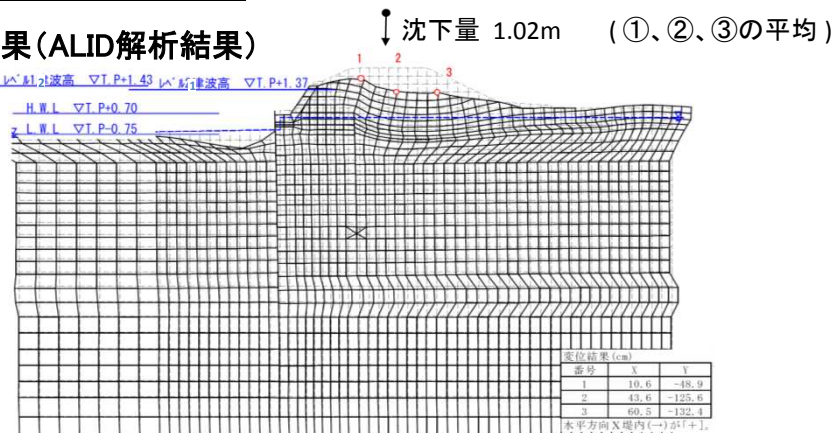


写真①

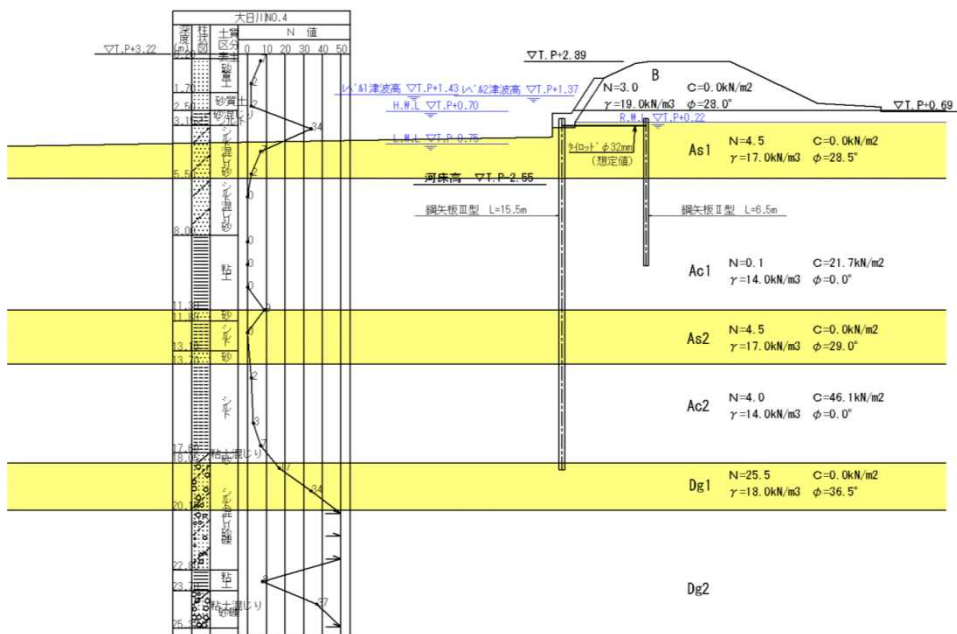


◆詳細耐震診断結果(ALID解析結果)

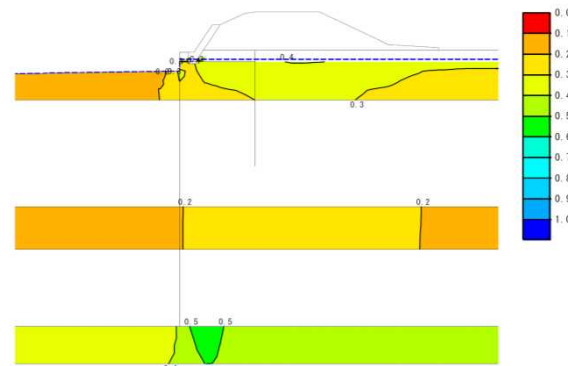
変形図



◆標準断面図



FL分布図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.43	1.37	1.45	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

①

河川名

中島川

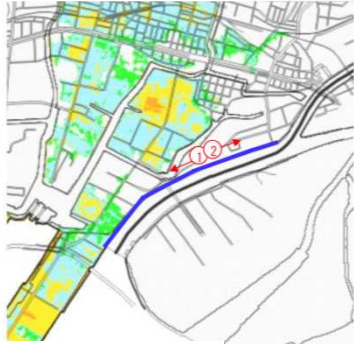
地区名

尼崎市

構造形式

コンクリート擁壁
+ 鋼管基礎杭

◆位置図



写真①

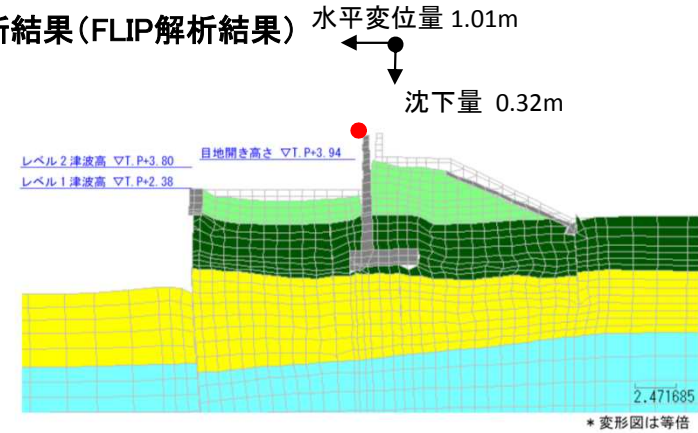


写真②

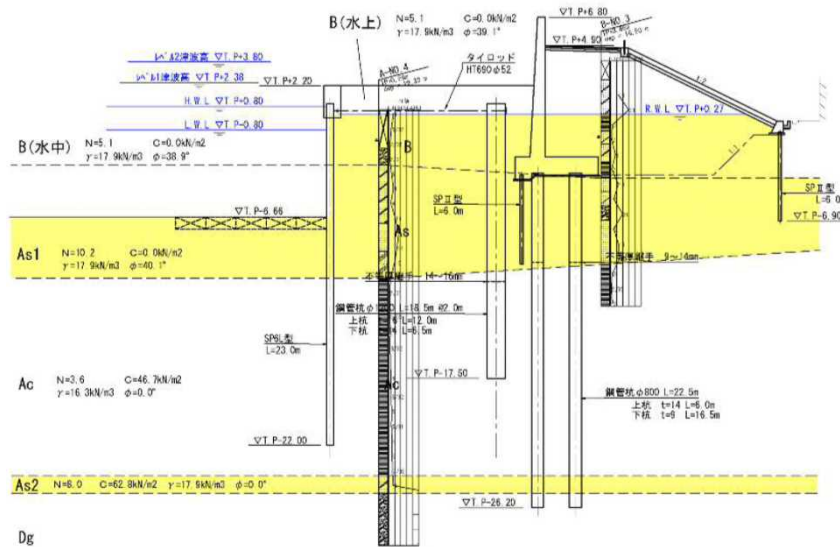


◆詳細耐震診断結果 (FLIP解析結果)

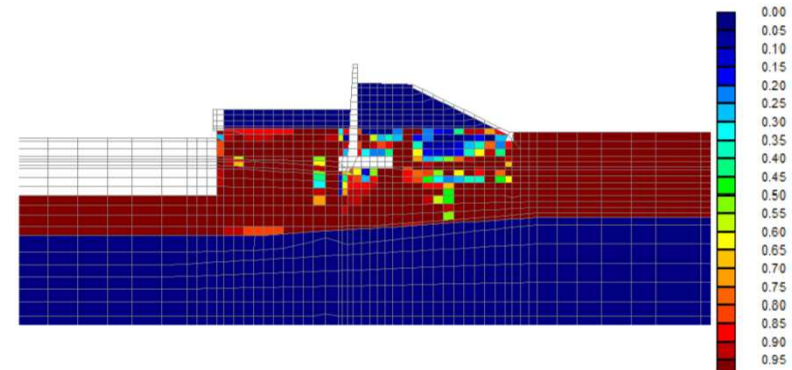
変形図



◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

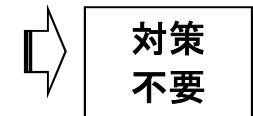
越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.38	3.80	6.34	3.94	越流なし

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

◆対策要否



※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

②

河川名

左門殿川

地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.09m



沈下量 1.36m

◆位置図



写真①

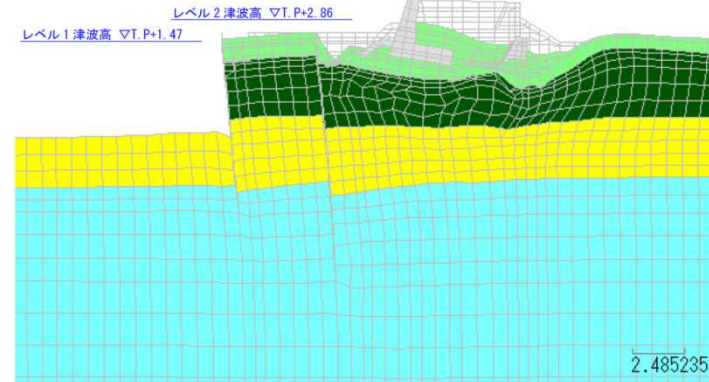


写真②



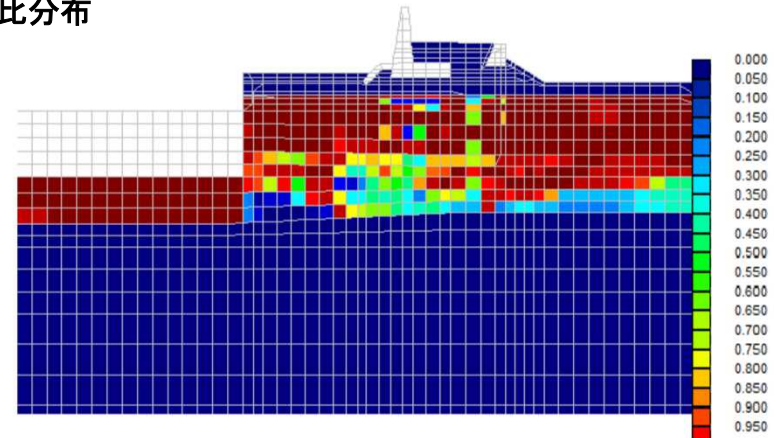
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

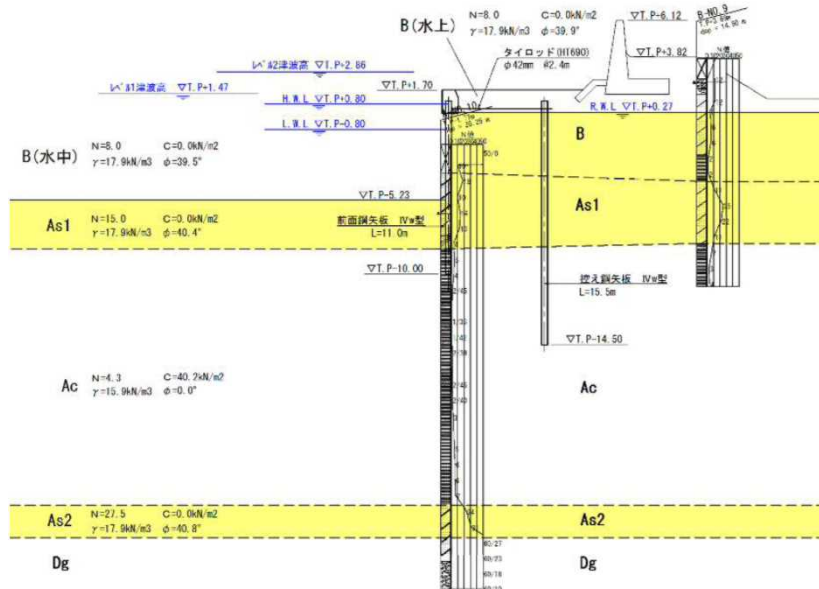


*変形図は等倍

過剰間隙水圧比分布



◆標準断面図



※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.47	2.86	4.62	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

③

河川名

神崎川

地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①



写真②

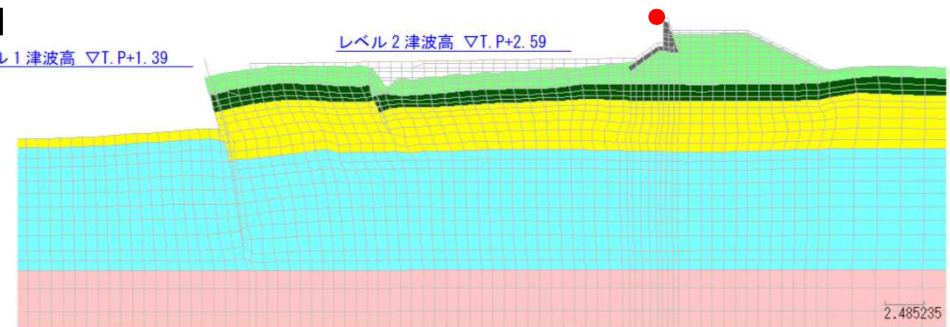


◆詳細耐震診断結果 (FLIP解析結果)

変形図

レベル1 津波高 ∇ T.P.+1.39

レベル2 津波高 ∇ T.P.+2.59



水平変位量 0.05m

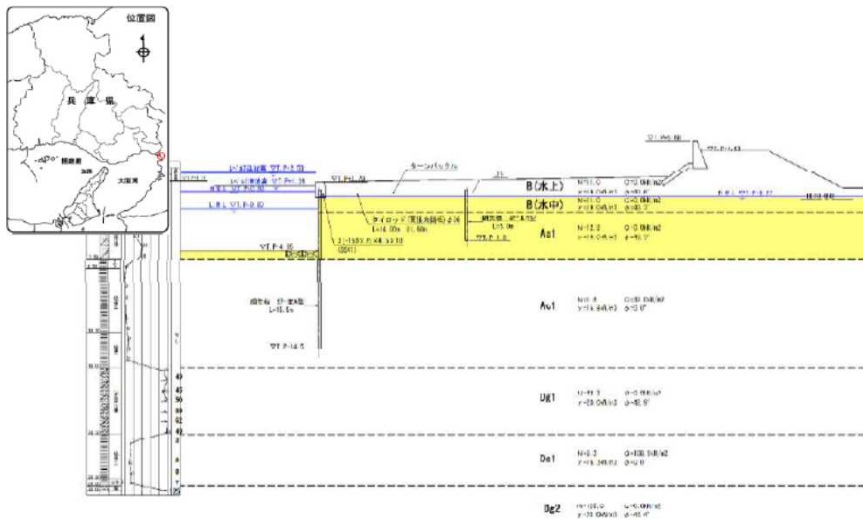


沈下量 0.40m

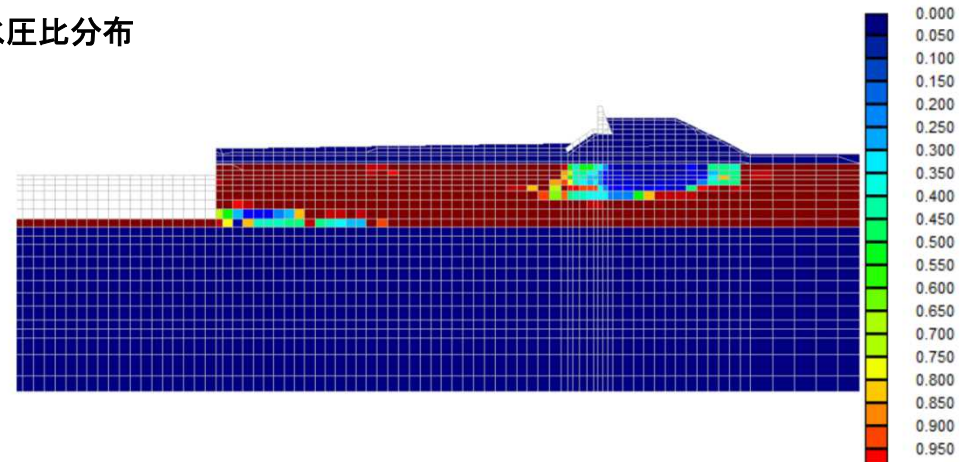
2.485235

* 変形図は等倍

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1 津波高 T.P.+ m	レベル2 津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.39	2.59	5.14	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

④

河川名

庄下川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

水平変位量 2.71m

沈下量 0.04m

◆位置図



写真①

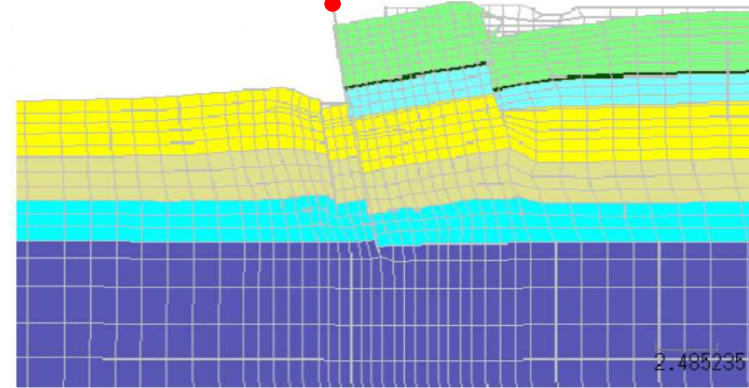


写真②



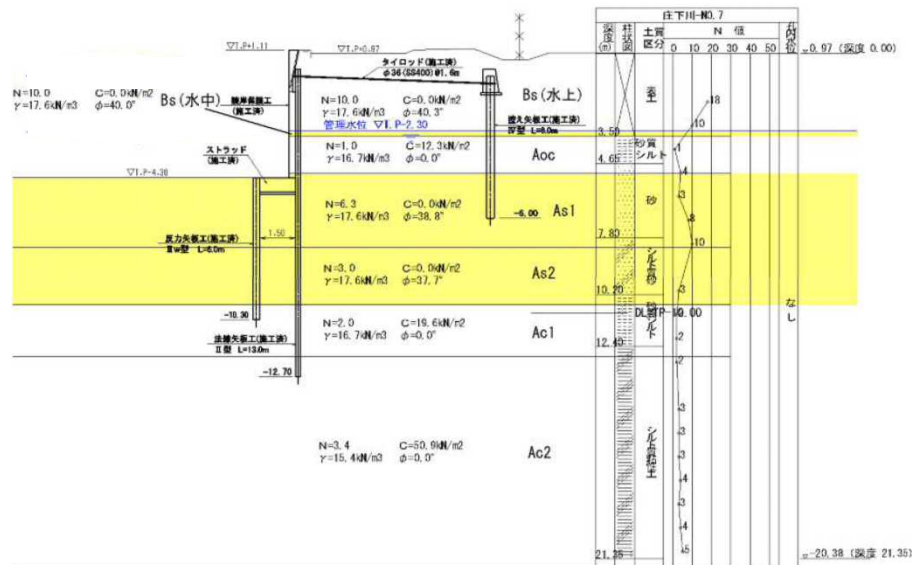
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

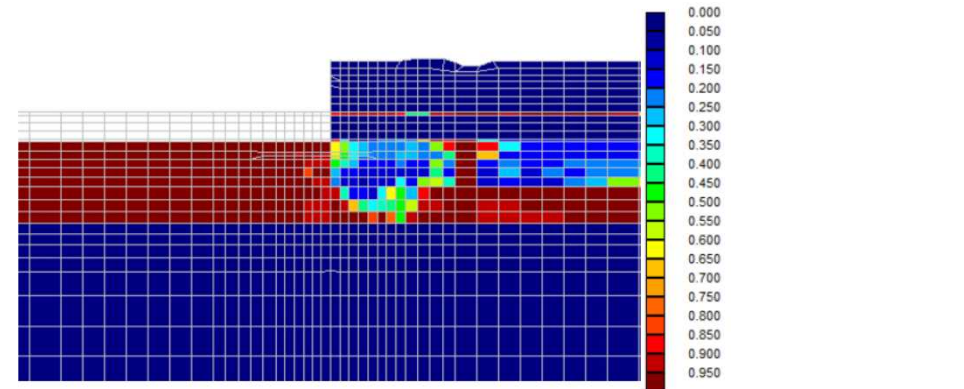


*変形図は等倍

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
-	-	0.93	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑤

河川名

旧左門殿川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

水平変位量 3.47m

沈下量 0.20m

◆位置図

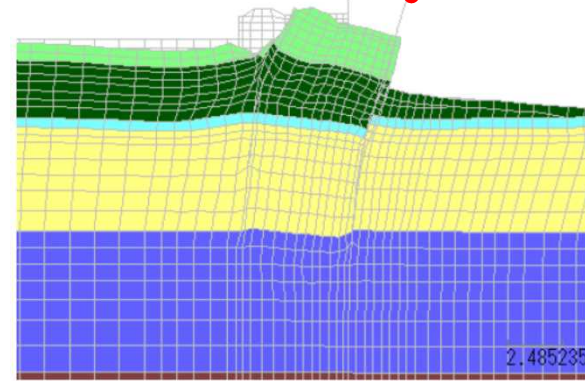


写真①



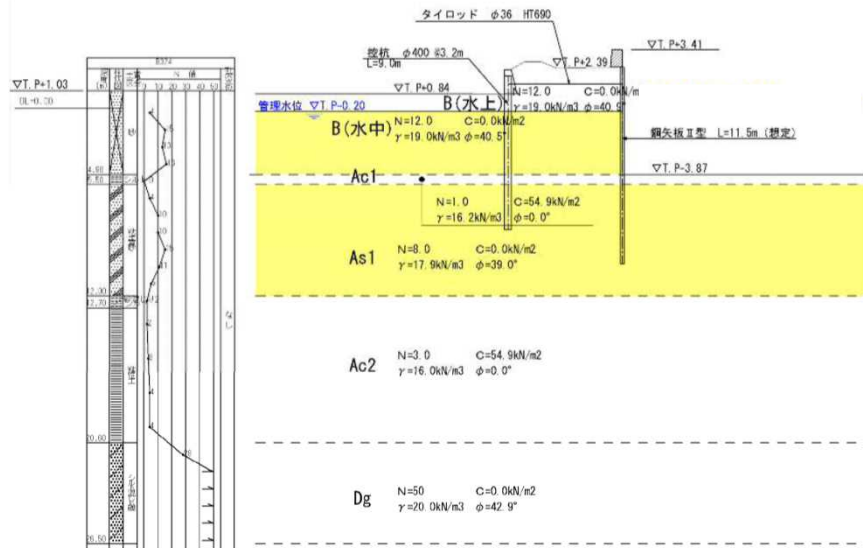
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

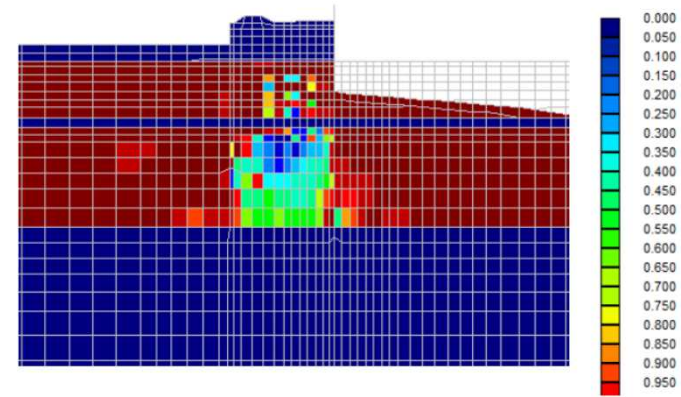


*変形図は等倍

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
-	-	3.07	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※ 沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

⑥

河川名

蓬川

地区名

尼崎市

構造形式

控え式矢板

◆位置図



写真①

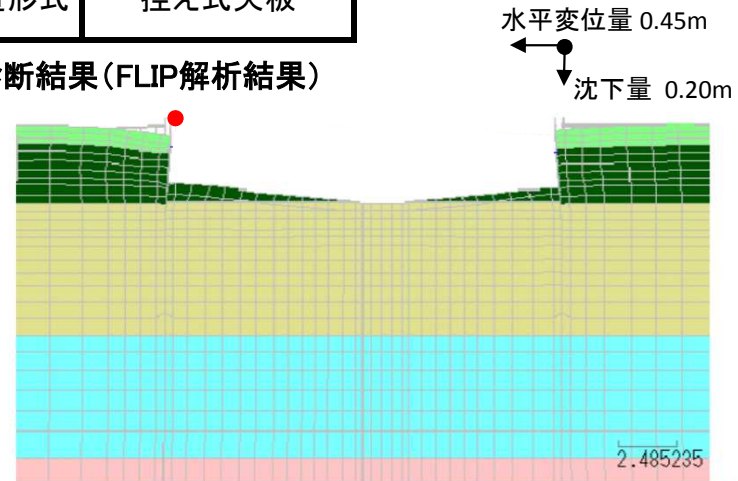


写真②



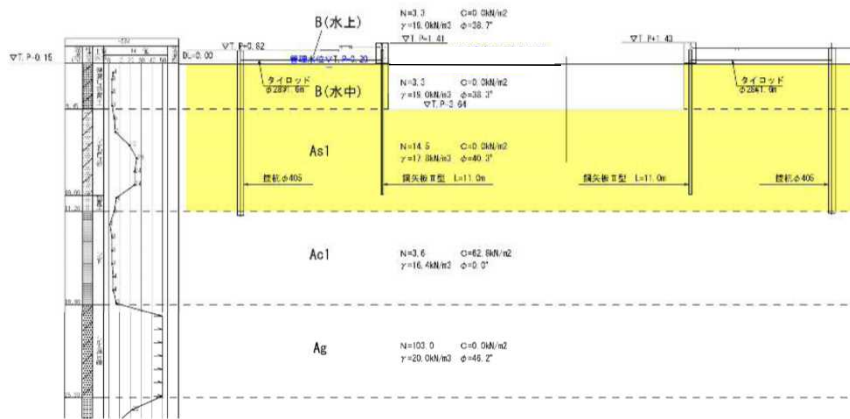
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

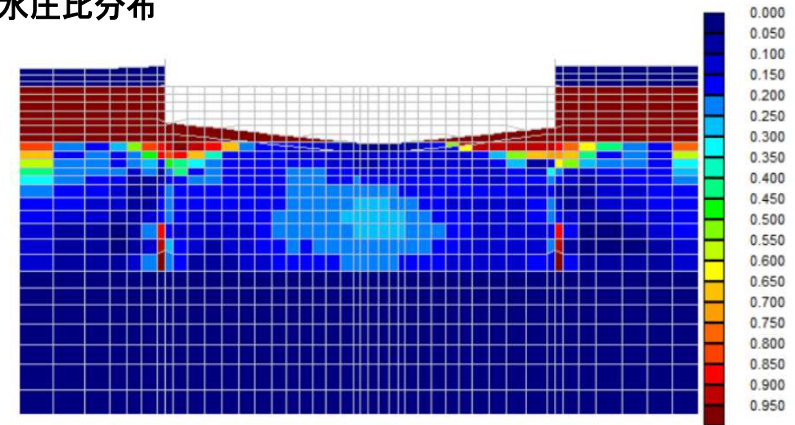


* 変形図は等倍

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
-	-	1.07	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※ 尼崎閘門等により津波遡上が抑制されると想定している。

※ 沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

⑦

河川名

武庫川

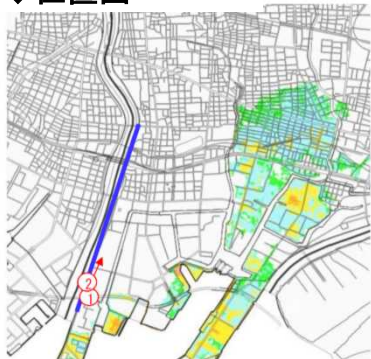
地区名

尼崎市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

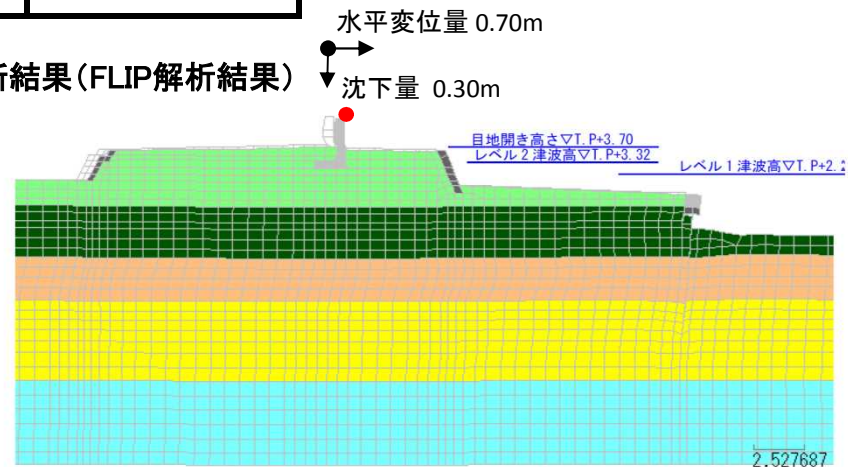


写真②



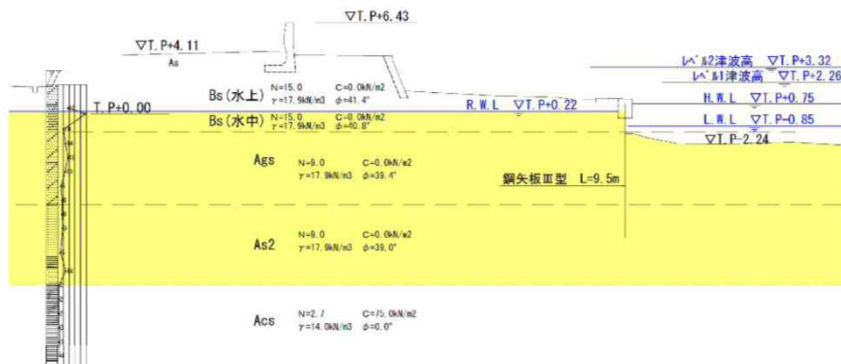
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図



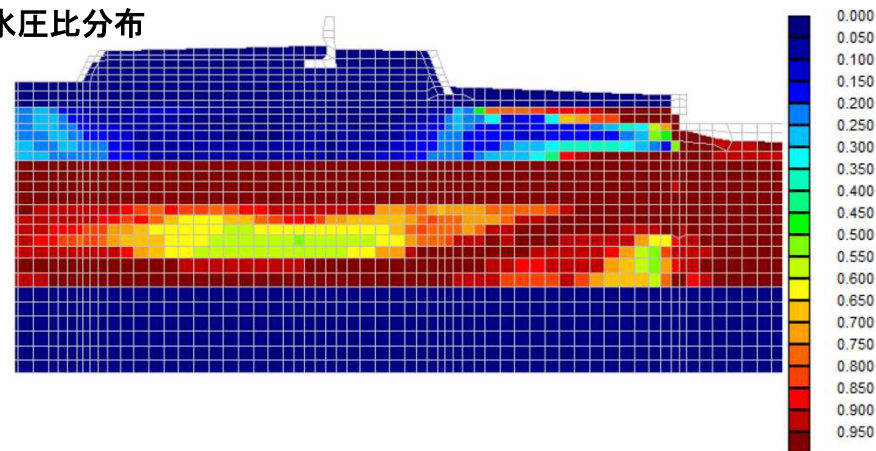
*変形図は等倍

◆標準断面図



※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.26	3.32	5.99	3.70	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

⑧

河川名

宮川

地区名

芦屋市

構造形式

土堤+パラペット

水平変位量 0.05m

沈下量 0.03m

◆位置図



写真①

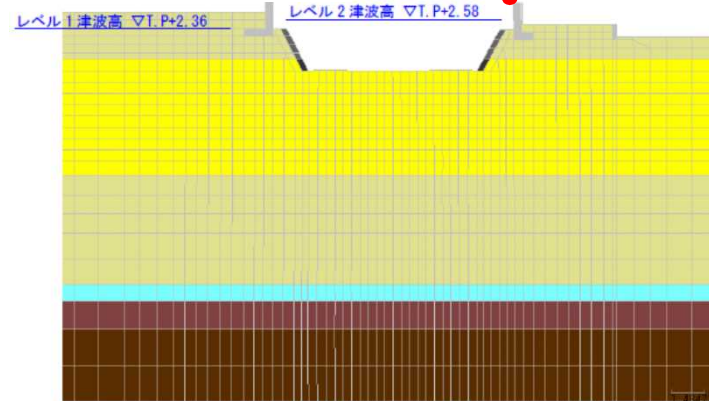


写真②

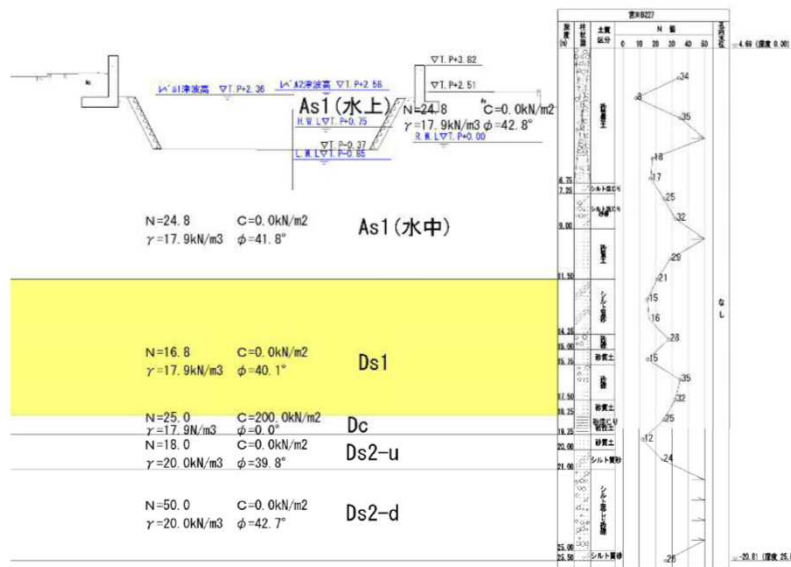


◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

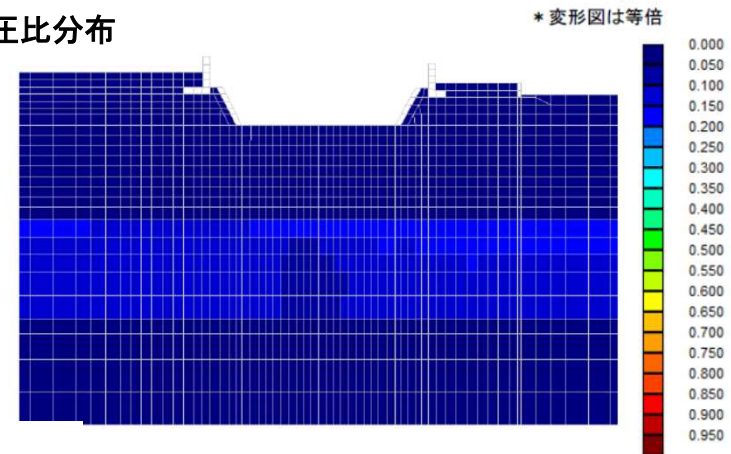
変形図



◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.36	2.58	3.69	-	越流なし

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑩

河川名

天上川

地区名

神戸市

構造形式

自立式矢板
+パラペット

水平変位量 0.01m

沈下量 0.07m

◆位置図



写真①

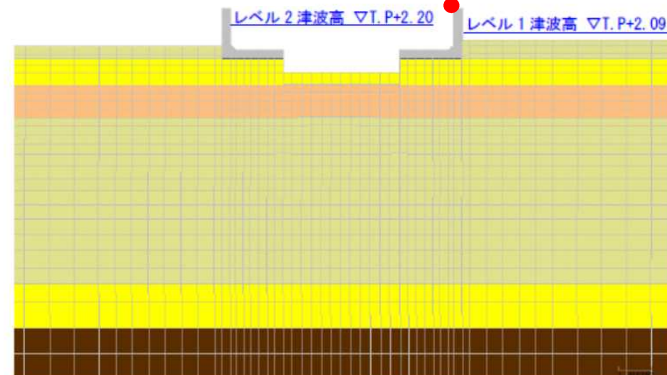


写真②

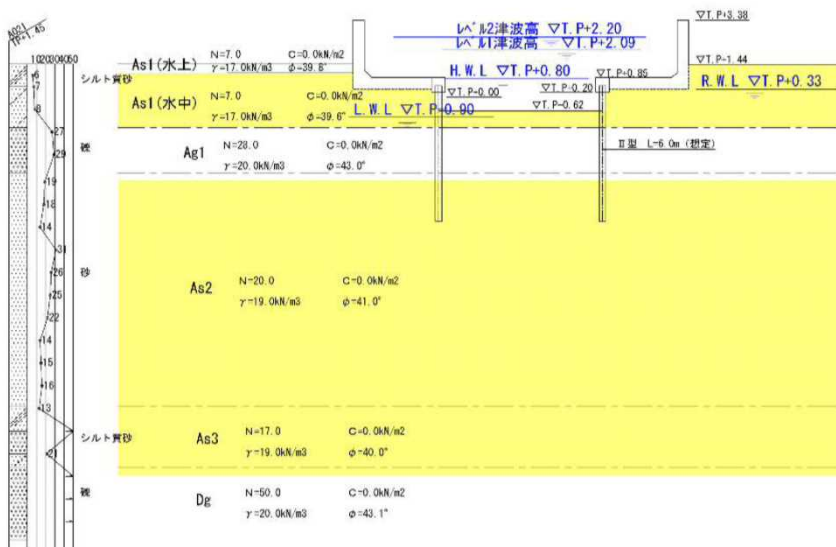


◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

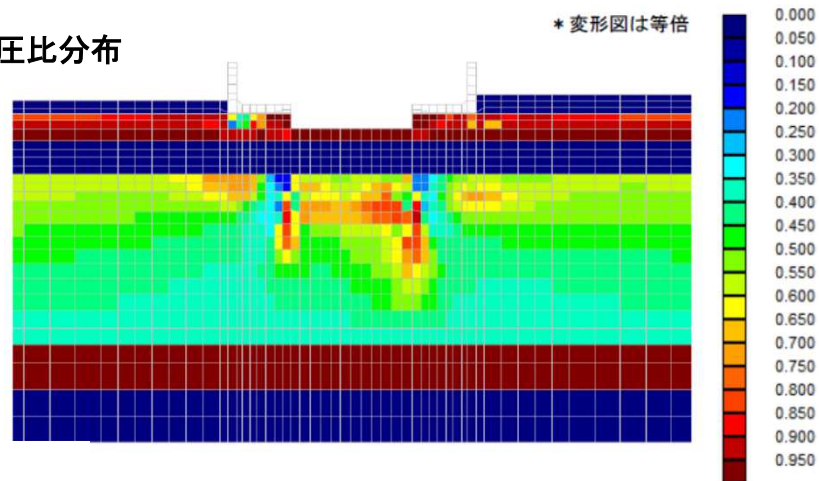
変形図



◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.09	2.20	3.23	-	越流なし

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑪

河川名

別府川

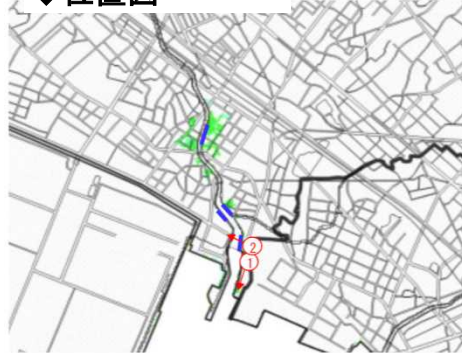
地区名

加古川市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

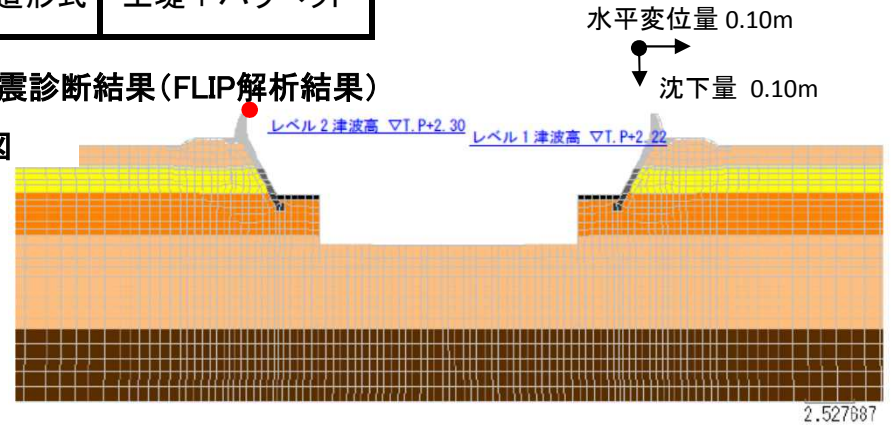


写真②



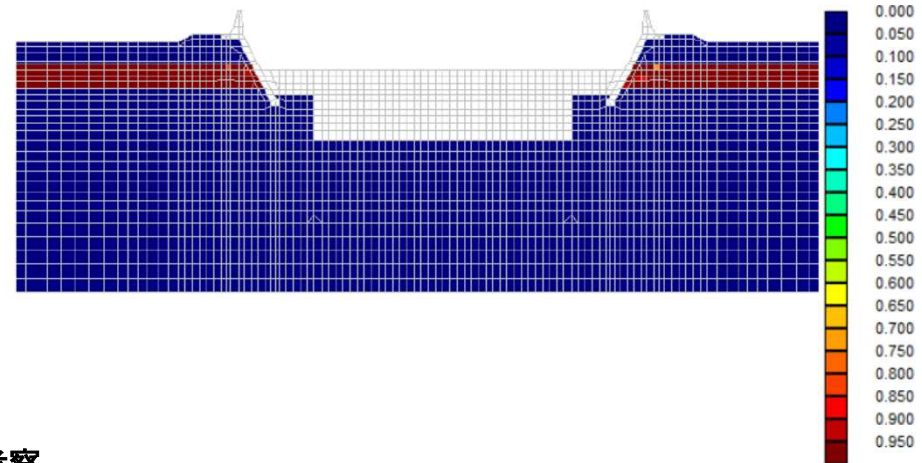
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

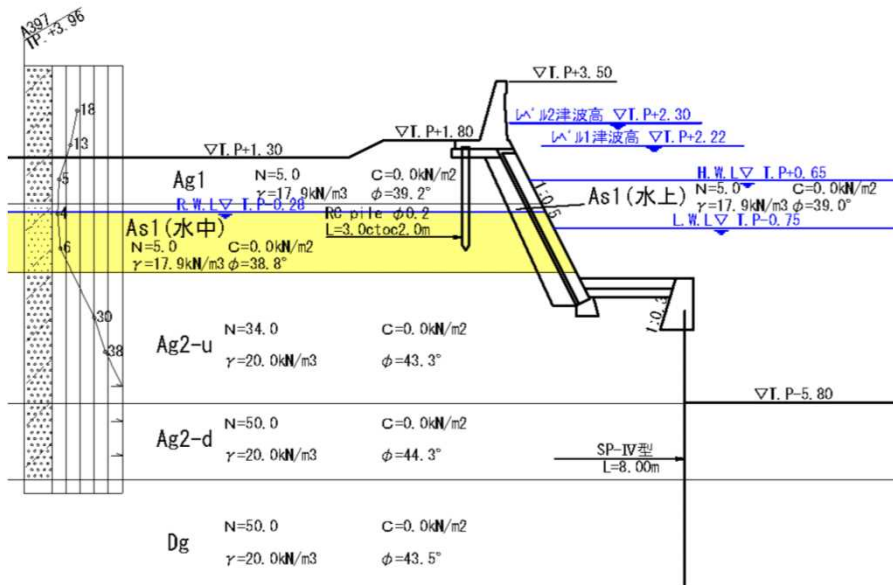


*変形図は等倍

過剰間隙水圧比分布



◆標準断面図



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.22	2.30	3.30	-	越流なし

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

◆対策要否

対策
不要

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。

⑫

河川名

船場川

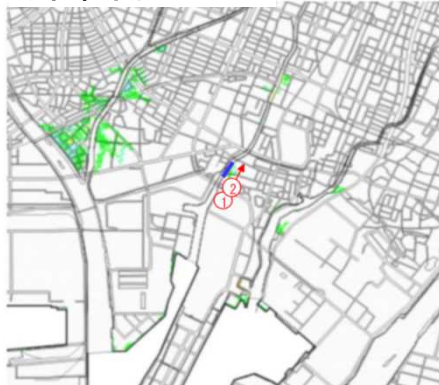
地区名

姫路市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

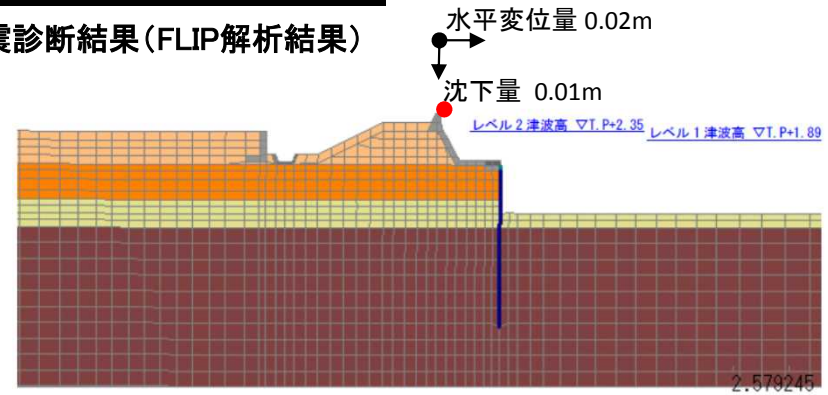


写真②



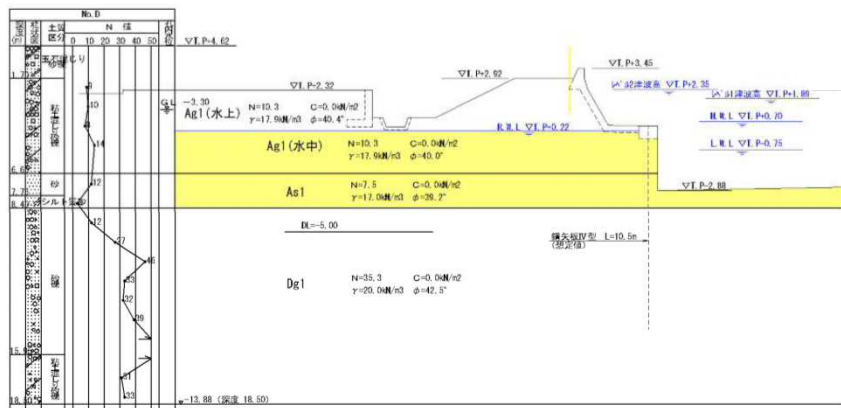
◆詳細耐震診断結果(FLIP解析結果)

変形図

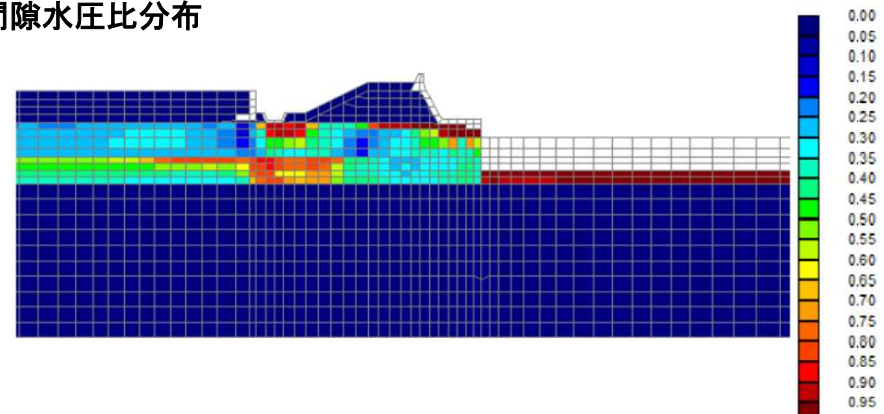


*変形図は等倍

◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
1.89	2.35	3.35	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものである。

⑮

河川名

汐入川

地区名

姫路市

構造形式

土堤+パラペット

◆位置図



写真①

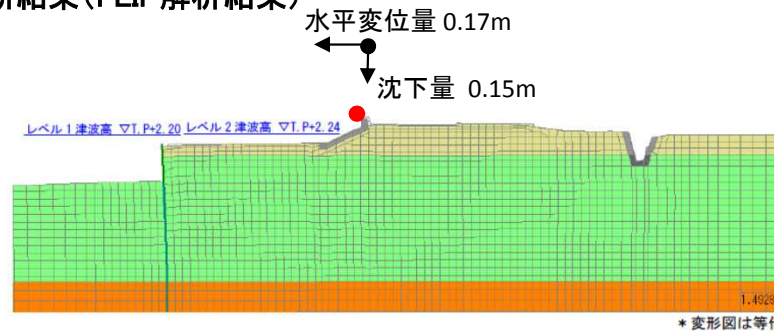


写真②

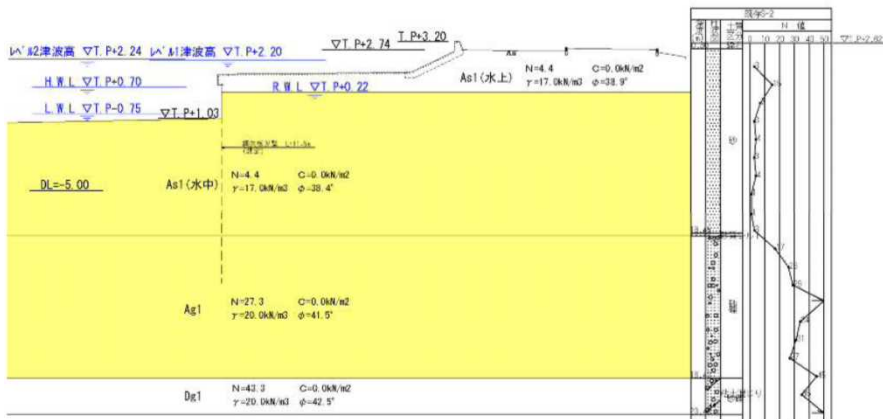


◆詳細耐震診断結果 (FLIP解析結果)

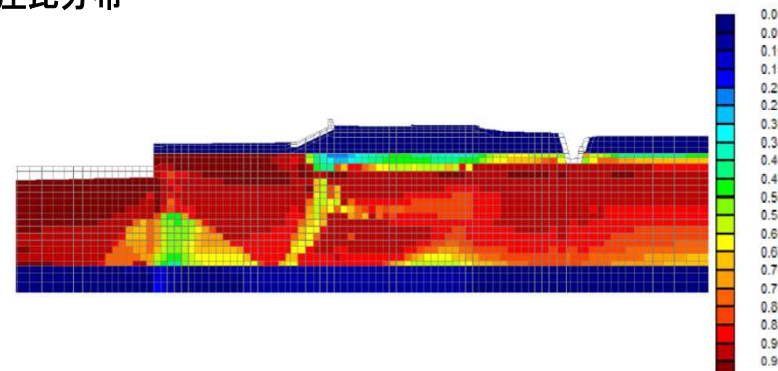
変形図



◆標準断面図



過剰間隙水圧比分布



◆考察

越流の判定

レベル1津波高 T.P.+ m	レベル2津波高 T.P.+ m	沈下後堤防高 T.P.+ m	目地開き高さ T.P.+ m	越流判定
2.20	2.24	2.96	-	越流なし

◆対策要否

対策
不要

沈下対策の判定

越流しないため、沈下対策は必要ない。

※沈下後堤防高は、液状化による沈下だけでなく地殻沈降も考慮したものとしている。